帝京平成大学大学院

TEIKYO

2027年度

入学者選抜要項

大　学　院

■情報科学研究科

情報科学専攻（修士課程）
　社会情報学分野
　健康情報学分野

情報科学専攻（博士課程）

■情報科学研究科（通信制）

情報科学専攻（修士課程）
　社会情報学分野
　健康情報学分野

●情報科学研究科

はじめに P.1
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） P.2

入学者選抜概要 P.3
情報科学研究科
　修士課程 P.3
　博士課程 P.4

出願手続 P.5
出願から入学手続まで P.5
出願に必要な書類 P.6
出願手続 P.7
受験料支払い P.10
出願書類提出方法 P.10
受験上の注意 P.11

合格発表・入学手続 P.12
合格発表 P.12
入学手続 P.13
納付金 P.13

試験場の案内 P.15
試験場案内図 P.15

研究指導内容 P.16
修士課程 P.16
博士課程 P.21

Q&A P.25
Q&A P.25

●情報科学研究科（通信制）

はじめに P.29
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） P.30

入学者選抜概要 P.31
情報科学研究科（通信制）
　修士課程 P.31

出願手続 P.33
出願から入学手続まで P.33
出願に必要な書類 P.34
受験料支払い P.38
出願書類提出方法 P.38
受験上の注意 P.39

合格発表・入学手続 P.40
合格発表 P.40
入学手続 P.41
納付金 P.41

研究指導内容 P.42
修士課程 P.42

はじめに

受験生の皆様へ

この入学者選抜要項には、出願手続から入学手続完了までのすべてが記載されています。まず一通り熟読し、そのうえで必要なページを読み返し、誤りのないよう出願を行ってください。

また、出願後、本人の入力ミス等による出願内容の変更は、いかなる場合もできませんので注意してください。

外国籍受験生の皆様へ

外国籍を有する方は、通常の出願資格（P. 3 ・P. 4 参照）を満たすほか、2027年 3 月31日（水）までに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

①「出入国管理及び難民認定法」に基づく在留資格「留学」を取得または更新できること
②高等教育機関において、必要な期間就学可能な在留資格等を有すること
③「永住者」または「定住者」の在留資格を有すること

在留資格「留学」を有する方、または入学にあたり在留資格「留学」を新規取得・更新もしくは「留学」へ変更する方は、本学の授業等が原則として日本語で行われるため、「日本語教育の参照枠」におけるB2 相当以上（日本語能力試験〈JLPT〉N2 総合得点112点以上、またはN1 総合得点100点以上）の日本語能力が必要です。

出願にあたっては、上記の日本語能力を証明する書類の提出が必要です。

なお、Ⅱ期入学者選抜については、入学までの在留資格取得に要する期間を考慮し、入学にあたり在留資格「留学」の新規取得または在留資格「留学」への変更が必要な方は出願できません。

外国籍を有する方の出願書類の詳細については、P. 6 をご確認ください。

担当希望教員との事前面談について

本学の研究指導内容（P.18～P.20・P.23～P.24『教育研究および担当教員』）を確認のうえ、出願希望の方は、出願前に必ず入試課へご連絡ください。その後、担当希望教員と面談のうえ、研究内容の方向性を確認します。

受験上の合理的配慮について

本学では、障がいのある受験生が、他の受験生と同様に能力を発揮できるよう、受験上の合理的配慮に関する申請を受け付けています。出願に先立ち、必ず入試課へご相談ください。

なお、以下のような配慮については、個別の状況に応じて検討いたします。

・別室での受験
・座席の配慮
・補助具（ルーペ、補聴器等）の使用許可
・試験監督者による口頭説明の補足（聴覚・視覚障害に応じて）

受験上の配慮を希望される場合は、診断書（原本）や配慮希望内容を記載した書面（メモ書き等）をご用意のうえ、出願開始の 2 週間前までに入試課へお問い合わせください。

お問い合わせ先　帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル 入試課　TEL：03-5843-3200

「個人情報の取り扱いについて」

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は本学におきまして入学案内、入学試験に関する業務を行うために利用します。
この業務の一部は、本学より当該業務の一部を委託した業者（以下、「受託業者」という）にて行います。業務委託にあたり、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

「安全保障輸出管理について」

帝京平成大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「帝京平成大学安全保障輸出管理規程」を定め、安全保障輸出管理を実施しています。そのため、入学時及び入学後の教育・研究活動等に際して、必要に応じて確認を行う場合があります。なお、外国籍の方または在留資格が「留学」である方については、安全保障輸出管理上の確認のため、所定の誓約書を提出していただきます。確認及び誓約書の内容等に基づき、法令等の規制に該当すると判断された場合は、希望する研究活動や教育内容の一部に制限が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【情報科学研究科】

情報科学研究科は、情報学や情報工学等を含めた多様な学術領域の高度な専門知識と技術・情報を適用して、人間の健康や社会生活に影響を及ぼす自然と生活環境の要因を的確に分析、評価、予測を行うことにより、新しい社会環境と生活環境を構築できる人材の養成のため、以下の入学者を求める。

①現代社会の課題に強い関心をもっている。
②健康と社会全般にわたる多角的・学際的視野と、各専門分野における高度な専門的実践能力を身につけた指導者・研究者として、問題解決に意欲的に取り組み、高度情報化社会の発展に貢献したいという強い意欲と能力をもっている。
③高度情報化社会において、人間の健康および幸福と福祉に貢献する意志をもっている。

情報科学専攻［修士課程］

情報科学研究科　情報科学専攻（修士課程）は、人間の健康や社会生活に影響を及ぼす自然と生活環境の要因を対象に、情報学・情報工学を含めた多様な学術領域の知識や技術を用いて、的確に分析、評価、予測することにより、人間が健全でより良い生活を送ることができる社会環境と生活環境を構築できる人材の養成のため、以下の入学者を求める。

①現代社会の課題を積極的に見つけ、解決したいという強い意志をもっている。
②健康と社会全般にわたる多角的・学際的視野と、各専門分野における高度な専門的実践能力を身につけた指導者として、高度情報化社会の発展に貢献したいという強い意欲をもっている。
③高度情報化社会において、人間の健康および幸福と福祉に貢献する意志をもっている。

情報科学専攻［博士課程］

情報科学研究科　情報科学専攻（博士課程）は、人間の健康や社会生活に影響を及ぼす自然と生活環境の要因を対象に、情報学・情報工学を含めた多様な学術領域の知識や技術を応用し、的確に分析、評価、予測することにより、人間が健全でより良い生活を送ることができる社会環境と生活環境を構築できる人材の養成のため、以下の入学者を求める。

①現代社会の課題に強い関心をもち、自らの関連領域において問題を提起することができる。
②健康と社会全般にわたる多角的・学際的視野と、各専門分野における基礎的な知識と技能をもち、さらに高度な専門的実践能力を身につけた指導者として、問題解決に意欲的に取り組み、高度情報化社会の発展に貢献したいという強い意欲と能力をもっている。
③人間と社会の物質的及び精神的な包括的視点から、新しい考え方や手法の開発・確立、実践に精力的に取り組む意欲をもっている。
④高度情報化社会において、人間の健康および幸福と福祉に貢献する志をもっている。

課程修了の認定および学位

課程	在学期間	修得単位および条件	学位
修士	修士課程 2 年以上 4 年以下	・30単位以上 ・学位論文の審査および試験に合格した者	修士（情報学）
博士	博士課程 3 年以上 6 年以下	・16単位以上 ・学位論文の審査および試験に合格した者	博士（情報学）

※修士課程・博士課程において社会人入学者で、長期履修学生制度を希望の場合はP.13を参照

情報科学研究科 入学者選抜概要

修士課程 情報科学専攻

修学キャンパス 中野

1. 募集人員（社会人枠含む）

情報科学専攻 { **社会情報学分野** / **健康情報学分野** }　**全分野で25名**

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者（2027年３月卒業見込みの者を含む）。
(2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2027年３月までに授与される見込みの者。
(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または2027年３月までに修了見込みの者。
(4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者または2027年３月までに修了見込みの者。
(5) 我が国において、外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年３月修了見込みの者。
(6) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準に該当する者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年３月末までに修了見込みの者。
(7) 文部科学大臣の指定した者。
(8) 2027年４月１日現在で満22歳以上であり、本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
(9) 社会人枠は、上記(1)～(8)のいずれかに該当し、病院・施設等の正規職員で、所属長から推薦を受けた者とする。

※（注）１　出願資格(8)により受験を希望する者は、出願資格の確認を行いますので、出願に先立ち、出願開始日の２週間前までに入試課へご連絡ください。

※（注）２　「社会人枠」とは、病院・施設等に勤務している者を所属長からの推薦に基づいて選抜する制度である。推薦を行う病院・施設等は、在職のままの修学について応諾することを前提とする。

●外国籍を有する者は、P.1「はじめに」の「外国籍受験生の皆様へ」に記載の出願条件もあわせてご確認ください。

3. 試験日・試験場

試験区分	出願期間（出願期間内必着）	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験場
Ⅰ期	2026年９月10日(木)～10月２日(金)	10月25日(日)	10月30日(金)	11月13日(金)	帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル
Ⅱ期	2027年２月１日(月)～２月25日(木)	３月14日(日)	３月16日(火)	３月23日(火)	

※各試験区分において、出願期間最終日の出願登録は16:00までとなりますので、ご注意ください。

4. 選考方法　筆記試験・面接・書類審査などで総合的に判定します。

(1) **筆記試験**

①**英語**：辞書は大学より貸与

②**専門科目**：（基礎情報分野２問・応用情報分野２問・医療分野４問）　計８問から２問選択

(2) **面接**

希望する研究分野別に研究計画等について行います。

※提出された代表論文については、合否判定の際、考慮します。

5. 時間割　9:00までに試験場に集合してください。

面接の終了時間は順番によって異なります。

受験上の注意	英語	専門科目	昼食	面接
9:15～9:30	9:30～10:30	10:50～11:50	11:50～12:55	13:00～

※最終入室時間は試験開始20分後まで（9:50）となります。

※各自で昼食を用意してください。学生食堂は営業していません。

博士課程　情報科学専攻

修学キャンパス　中野

1. 募集人員（社会人枠含む）

情報科学専攻　　5名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 修士の学位や専門職学位を有する者（2027年３月までに取得見込みの者を含む）。
(2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年３月までに授与される見込みの者。
(3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位・専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年３月までに授与される見込みの者。
(4) 我が国において、外国の大学院相当として指定された外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年３月までに授与される見込みの者。
(5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または2027年３月までに授与される見込みの者。
(6) 外国の学校、(4)に規定する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者または2027年３月までに授与される見込みの者。
(7) 大学等を卒業し、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者。
(8) 文部科学大臣の指定した者。
(9) 2027年４月１日現在で満24歳以上であり、本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。
(10) 社会人枠は、上記(1)～(9)のいずれかに該当し、病院・施設等の正規職員で、所属長から推薦を受けた者とする。
　※（注）１　出願資格(9)により受験を希望する者は、出願資格の確認を行いますので、出願に先立ち、出願開始日の２週間前までに入試課へご連絡ください。
　※（注）２　「社会人枠」とは、病院・施設等に勤務している者を所属長からの推薦に基づいて選抜する制度である。推薦を行う病院・施設等は、在職のままの修学について応諾することを前提とする。

●外国籍を有する者は、P.1「はじめに」の「外国籍受験生の皆様へ」に記載の出願条件もあわせてご確認ください。

3. 試験日・試験場

試験区分	出願期間（出願期間内必着）	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験場
Ⅰ期	2026年９月10日(木)～10月２日(金)	10月25日(日)	10月30日(金)	11月13日(金)	帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル
Ⅱ期	2027年２月１日(月)～２月25日(木)	３月14日(日)	３月16日(火)	３月23日(火)	

※各試験区分において、出願期間最終日の出願登録は16:00までとなりますので、ご注意ください。

4. 選考方法　筆記試験・口述試験・書類審査などで総合的に判定します。

(1) **筆記試験**

英語：辞書は大学より貸与

(2) **口述試験**

専門分野の学力・修士論文・研究計画等について行います。
（外国人留学生は日本語能力についても、社会人枠は公表論文・研究業績についても行います。）
※提出された代表論文については、合否判定の際、考慮します。

5. 時間割　9:00までに試験場に集合してください。

口述試験の終了時間は順番によって異なります。

受験上の注意	英語	口述
9:15～9:30	9:30～10:30	10:45～

※最終入室時間は試験開始20分後まで（9:50）となります。

出願から入学手続まで

大学院担当教員への連絡	●教育研究および担当教員(P.18～P.20・P.23～P.24)のページを参照し、本学の研究指導内容を確認してください。 ●**出願する前に担当希望教員とご相談ください。**なお、担当希望教員の連絡先は入試課(TEL.03-5843-3200)にお問い合せください。

1	**事前準備** (P. 5 ～P. 7 参照)	■ 担当希望教員との事前面談（必須） ■ 出願に必要な書類の準備 ■ メールアドレスの準備 ■ 顔写真データの準備
2	**インターネット出願登録** (P. 7 ～P. 9 参照)	■ 個人情報・顔写真データ・出願情報の登録 ■ インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順
3	**受験料支払い** (P. 9 ～P.10参照)	■ インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順 ■ 受験料 ■ 受験料支払い方法
4	**出願書類提出方法** (P.10参照)	■ 郵送による提出 ■ 直接来学による提出
5	**受験票の確認** (P.10参照)	■ 受験票の印刷
6	**受験上の注意** (P.11参照)	■ 試験場 ■ 集合時間 ■ 持参品 ■ 服装 ■ 試験中の注意
7	**合格発表** (P.12参照)	■ インターネットによる合否照会
8	**入学手続** (P.13～P.14参照)	■ 入学手続方法 ■ 納付金 ■ 長期履修学生制度 ■ 一般教育訓練制度 ■ 入学許可の取消しについて ■ 入学辞退手続

出願に必要な書類

・本学HPより取得が必要な書類は、必要に応じて取得してください。
・提出漏れ防止のため、「チェックリスト」欄を活用しながら書類を準備してください。
・間違いや不備のないよう、よく読み、提出する前に再度確認してください。
・提出書類をまとめる必要がある場合は、ホチキス留めはせず、クリップ等を使用してください。

《全員必須》

書類の種類		注意点	本学HPより取得が必要	チェックリスト
①	志願票	インターネット出願画面から出力・印刷の上、必ず封入してください。		□
②	志願者履歴書	本学ホームページより取得し、必要事項を入力のうえ、印刷して提出してください。 ※手書きでの作成は不可とします。	○	□
③	成績証明書	最終学歴校の学校長等が作成し、**厳封したもの**。		□
④	研究希望書**(様式任意)**	大学院での研究計画等について入力し提出してください。		□

《修士課程志願者のみ必須》

書類の種類		注意点	本学HPより取得が必要	チェックリスト
⑤	卒業(見込)証明書	出身大学等で作成し、**厳封したもの**。		□

《博士課程志願者のみ必須》

書類の種類		注意点	本学HPより取得が必要	チェックリスト
⑥	修士課程修了(見込)証明書	出身大学等で作成し、**厳封したもの**。		□
⑦	修士論文・修士研究概要**(様式任意)**、研究業績一覧	修士課程修了者は修士論文の内容を、修了見込者は修士研究の内容を2,000字(英語の場合は500words)程度に要約した概要を提出してください。他に、公表論文・研究業績がある場合は、その写しおよび研究業績一覧(本学ホームページより取得し、入力)を添付してください。	○	□

《該当者のみ》

書類の種類		注意点	本学HPより取得が必要	チェックリスト
⑧	学位授与証明書(修士課程)	※出願資格⑵に該当する方のみ 大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出すること(授与見込の場合は、学位授与申請受理証明書を提出すること)。		□
⑨	入学資格審査申請書	※修士課程出願資格⑻・博士課程出願資格⑼に該当する方のみ(P. 3 ～P. 4 参照) 本学ホームページより取得し、入力し提出してください。	○	□
⑩	受験承諾書	出願時に在職中の方で、在職のまま入学を予定している場合には、勤務先所属長の「受験承諾書」を提出してください。 (所定用紙を本学ホームページからダウンロード・印刷) 合格後、退職する予定の方は、志願者履歴書の特記事項にその旨を記載してください。	○	□
⑪	戸籍抄本	婚姻等により、出願書類に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、提出してください。		□
⑫	パスポートおよび在留カードのカラーコピー	※日本国内に居住する外国籍の方のみ 以下をカラーコピーし、提出してください。 ・パスポートの顔写真ページ(氏名、生年月日、パスポート番号等が記載されているページ) ・在留カードの両面(在留期間等および現住所が最新のもの)		□
⑬	留学生個人票	※在留資格「留学」の方のみ 本学ホームページより取得し、必要事項を入力のうえ、印刷して提出してください。	○	□
⑭	日本語能力試験結果	※在留資格「留学」の方のみ 日本語能力試験(N2 112点以上　または　N1 100点以上)合格を証明する合否結果通知書または証明書のコピーを提出してください。		□
⑮	在学中の日本国内教育機関の在学証明書または成績証明書等	※在留資格「留学」の方のみ 出願時に在籍している日本国内の教育機関が発行した在学証明書または成績証明書等(出席率が確認できるもの)を提出してください。		□
⑯	経費支弁書(本学所定用紙)	※在留資格「留学」の方のみ 本学ホームページより取得し、黒のボールペンで必要事項を記入してください。必ず記入例を参照し、記入ミスのないようにしてください。	○	□
⑰	経費支弁能力確認書類	※在留資格「留学」の方のみ 経費支弁能力を証明する書類を提出してください。(本人または経費支弁者名義の残高証明書／年収証明書　等)		□
⑱	外国語で作成されている書類の日本語訳	外国語で作成されている書類には、原本に加え、必ず公的機関が発行した公印付きの日本語訳を提出してください。		□
⑲	その他	代表論文については合否判定の際、考慮します。		□

※外国籍の方：外国籍を有する者
※在留資格「留学」の方：出願時点で在留資格「留学」を有する者、または2027年３月31日までに取得見込みの者

中国（香港・マカオを除く）の教育機関を卒業・修了した方へ

中国の大学または大学院の卒業・修了者は、卒業・修了証明書および成績証明書の代わりに、CHSI（中国高等教育学生信息網）またはCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する以下の認証書類（電子認証報告書を含む）を提出することができます。

・高等教育学歴認証（Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate）
・高等教育成績認証（Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript）

【提出方法・注意点】

・CHSIを利用する場合：出願締切日までに、電子認証報告メールがCHSIから直接、本学入試課（admission-office@thu.ac.jp）へ送信されるよう申請してください。志願者本人が転送したものは受理しません。
・CHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構を利用する場合：出願締切日までに、認証書類が同機構から直接、本学入試課へ郵送されるよう手配してください。志願者本人が提出したものは受理しません。

※認証書類の発行には時間を要するため、余裕を持って申請してください。
※上記の認証書類を利用して出願した場合は、宛名ラベルの余白に「CHSI申請中」と記入してください。
※上記の認証書類を利用して出願した場合でも、**合格後の入学手続時には卒業・修了証明書の原本および日本語訳の提出が必要**となりますので、あらかじめご承知おきください。

出願手続

1. 事前準備

メールアドレスの準備

インターネット出願時にメールアドレスを登録していただきます。
登録したメールアドレスはマイページのログインIDとして使用し、また、出願完了や受験料入金完了をお知らせするメールを送りますので、普段から使用するメールアドレスを準備してください。

顔写真データの準備

顔写真は入学者選抜試験当日の本人確認用および**入学後の学生証用**として使用します。
一度登録された写真は変更できませんので、下記の「○良い例」を参考に、不備のないよう準備してください。
写真データのサイズは、100KB以上5MB以下となります。
※志願票に顔写真は表示されません。また、印刷した志願票に顔写真を貼付する必要はありません。

○良い例　×写りが不鮮明　×どちらかの目が隠れている　×顔の写りが大きすぎる　×アプリ等で顔を加工している

2. インターネット出願登録

個人情報・顔写真データ・出願情報の登録

以下のURLにアクセスし、インターネット出願システムより必要な情報を入力し、出願手続きを行ってください。
出願時の登録・入力ミスによる登録内容の変更は受け付けられませんので、ご注意ください。
※各試験区分において、出願期間最終日の出願登録は16:00までとなりますので、ご注意ください。

https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/

インターネット出願の流れ
受験料支払いの利用手順

1 ガイダンスサイトへアクセス

https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/

2 入学者選抜種別の選択・受験者情報の入力

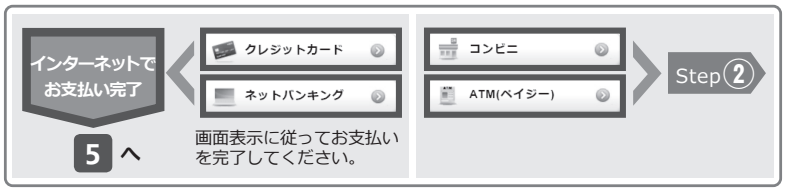
画面に従って必要な情報を入力してください。入力内容を間違えた場合は、始めからやり直してください。

3 支払い方法の選択

（受験料の他に、一件につきサービス利用料がかかります。）

Step① 受験料の支払い方法を選択します。

「出願登録完了画面」あるいは「マイページの出願確認から表示される申し込み一覧画面」より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。



■クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club

■ネットバンキング
主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

Step② お支払い情報を確認します。

コンビニエンスストア・ATMでの支払いに必要なお支払い情報を取得します。
お支払い情報は、支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

● コンビニエンスストア
コンビニエンスストア名を選択した後、**「お支払い情報取得ボタン」を押してください。**

■コンビニエンスストア

セブン－イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート

● ATM（ペイジー）
画面表示に従い、**「お支払い情報取得ボタン」を押してください。**

■ATM（Pay-easy利用可能なATM）
ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、
三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行など

次頁へ

4 受験料の支払い

選択した支払い方法で受験料を支払います。

3 のStep②で取得したお支払い情報を持参し、コンビニエンスストア（レジ、設置端末）・ATMにて受験料を支払います。
領収書は必ず受け取ってください。

コンビニエンスストア

セブン-イレブン
店頭レジ
- レジで「インターネット代金支払」と伝える
- 「払込票番号」を伝える
- レジで受験料を現金で支払う※
- 領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストア
店頭レジ
- レジで「オンライン決済」と伝える
- タッチパネルに「お客様番号」を入力
- 支払い内容確認
- レジで受験料を現金で支払う※
- 領収書（レシート形式）を必ず受け取る

ローソン ミニストップ
Loppi
- 「各種番号をお持ちの方」を選択
- 「お支払い受付番号」を入力
- 「電話番号」を入力
- 支払い内容確認
- 発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、受験料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
- 取扱明細兼領収書を必ず受け取る

ファミリーマート
マルチコピー機
- 「代金支払い」を選択
- 「次へ」を選択
- 「番号入力画面」を選択
- 収納番号の左5桁「20020」を入力
- 「収納番号の右12桁」を入力
- 支払い内容確認
- 発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、受験料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
- 取扱明細兼領収書を必ず受け取る

セイコーマート
クラブ ステーション
- 「インターネット受付各種代金お支払い」を選択
- 「お支払い受付番号」を入力
- 「電話番号」を入力
- 支払い内容確認
- 発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、受験料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
- 取扱明細兼領収書を必ず受け取る

ATM

Pay-easy 利用ATM
- 「税金・料金払い込み」など を選択
- 収納機関番号「58171」を入力
- 「お客様番号」を入力
- 「確認番号」を入力
- 支払い内容確認
- 「現金」または「キャッシュカード」を選択し支払う※
- 利用明細票を必ず受け取る

※ATMを利用する際、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

サービス利用料について

※受験料のほかに、サービス利用料が必要です。登録時にご確認ください。
※複数回登録する場合、サービス利用料がそれぞれ必要となります。

5 志願票・宛名ラベルの印刷

https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/

受験料納入が確認でき次第、入金確認メールを送信します。
メールに記載のURLからガイダンスサイトにアクセスし、志願票・宛名ラベルを印刷し、
市販の封筒（角形2号）に貼付けしてください。

（メールが届かない場合、上記URLからアクセスしてください。）

6 出願書類の提出

本要項P. 6 を参照し、必要な出願書類を確認してから入試課に提出してください。
出願書類は出願締切日必着です。

※今年度、本学への出願が２回目の場合、受験料の入金が完了した時点で出願完了となりますので、出願書類の再提出は不要です。

出願完了

受験料支払い

❶ 受験料

今年度の入学者選抜を２回出願する場合、２回目は受験料が軽減されます。

研究科	受　験　料	
	１回目	２回目
情報科学研究科	35,000円	15,000円

※本学出身者は受験料が免除となりますので、手続方法について別途留意事項がございます。**受験料を納付する前**に必ず入試課に連絡してください。

❷ 受験料支払い方法（受験料は出願期間内に納付してください）

コンビニエンスストア・クレジットカード・ペイジー・ネットバンキングからの支払い

P. 8 ～P. 9「インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順」参照

なお、納付された受験料は、理由のいかんにかかわらず返還できません。

出願書類提出方法

出願情報をインターネット上で登録し、受験料を納付したうえで、出願に必要な書類（P. 6 参照）を出願期間内に郵送または直接来学にて提出してください。

[重要]

出願後は、試験日を含む出願内容の変更はできません。また、いかなる場合においても、出願後の書類および受験料の返還はいたしません。

必ず、出願資格から入学手続に至るまでの諸要件を十分にご確認・ご理解のうえで出願してください。

郵送による提出

出願書類は市販の角形２号封筒に入れ、インターネット出願システムのマイページからカラー印刷した「出願用宛名ラベル」を貼付のうえ、**簡易書留・速達郵便**で郵送してください。

※出願期間内必着です。**消印有効ではありません**のでご注意ください。

直接来学による提出

出願期間内に、出願書類を入試課へ持参してください。

受付時間　平日　9:00～16:00　　土曜日　9:00～12:00

※日曜、祝日の事務取扱いはいたしません。

また、9/26、2/13は入館不可となるためご注意ください。

出願書類提出場所（地図はP.15参照）

池袋キャンパス　MiNoRiセントラル　入試課　〒170-8445　東京都豊島区東池袋２-51-４

※池袋キャンパス以外のキャンパスでは、出願受付は行っておりません。

受験票の確認

受験票の印刷

インターネット出願画面のマイページメニューの「オンライン受験票」より確認・印刷ができます。前日になっても受験票が確認できない場合は、入試課へ電話で照会してください。

●受験票に関するご注意

・記載内容に誤りがないか、必ずご確認ください（出願時の登録・入力ミスによる内容の変更はできません）。

・受験票には顔写真は表示されません。また、印刷した受験票に顔写真を貼付する必要もありません。

・受験票は試験当日に使用しますので、必ず持参してください。

受験上の注意

❶ 試験場

試験場は帝京平成大学**池袋キャンパス　MiNoRiセントラル**です。
※インターネット出願時は「東京試験場」と表示されますが、情報科学研究科（修士課程・博士課程）の試験場は**池袋キャンパス　MiNoRiセントラル**のみです。

❷ 集合時間

集合時間は9:00です。机上に貼付された受験番号ラベルを確認のうえ着席し、試験監督者・係員の指示に従ってください。
なお、試験場は8:00開場です（8:00以前は入館できません）。
9:15から受験上の注意について伝達し、9:30から試験を開始します。
遅刻時の最終入室時刻は9:50までとなります。それ以降の入室は一切認めません。

❸ 持参品

① **受験票**
受験票は、インターネット出願画面のマイページメニューにある「オンライン受験票」をご自身で印刷して持参してください。試験場入室後は、机上に提示してください。受験票を忘れた場合や紛失した場合は、試験当日に総合受付に申し出てください。

② **筆記用具**（定規・コンパス・下敷き等の使用は認めません）

③ **時計（時計機能のみのもの）**

- **辞書、電卓、通信端末等の機能を有するもの、またはそれらの機能の有無が判別しにくいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型の時計の使用は認めません。**
- **携帯電話、スマートフォン等を時計として使用することはできません。携帯電話、スマートフォン等は必ず電源を切り、アラームを解除してかばんの中にしまってください。かばんは中身が見えないよう閉じ、椅子の下に置いてください。**
- **試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等を机の上に置いたり、身につけていることが確認された場合は、不正行為とみなします。**
- 当日、時計の貸し出しはできません。

❹ 服装

服装については自由です。（例：スーツなど）

❺ 試験中の注意

①途中退出は認めません。体調不良等、やむを得ない事情の場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
②試験時間中に以下の不正行為または不正行為の疑いがあると判断された場合は、退室を命じ、失格となることがあります。
(1) 監督者の指示に従わないこと。
(2) カンニング（他の受験者の答案等を見ること、カンニングペーパーの使用等）をすること。
(3) 使用を認められていない用具を使用して解答すること。
(4) 電子辞書・携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類を使用（机上に置く等）、または身につけていること（面接控室等での待機時間を含む）。
(5) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
上記の不正行為が認められた場合、それ以降の受験および当該年度における本学のすべての入学者選抜の受験を認めません。
なお、その際に受験料の返還は行いません。

合格発表

合格発表は、発表日（13:00～）から入学手続締切日（～23:59）まで、インターネットによる合否照会を実施します。
合否照会の方法については、下記をご参照ください。本学への電話等によるお問い合わせには応じることはできません。
また、操作ミス等によるトラブルについては、本学は一切責任を負いません。

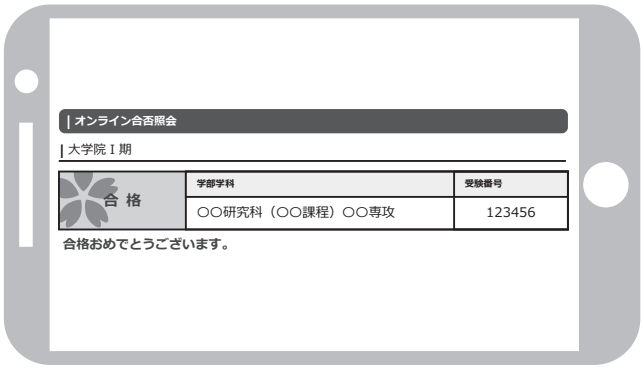
インターネットによる合否照会

以下のURLにアクセスし、インターネット出願システムのマイページ「合否結果」からご確認ください。

https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/（パソコン・スマートフォン共通）

●インターネットによる合否照会における結果表示について

合格の場合



不合格の場合

※画面は開発中のものであり、実際の操作画面と異なる可能性がございますので、ご了承ください。

入学手続

入学手続方法

入学手続は、インターネット出願システムのマイページ「入学手続き」にアクセスし、「納付金の納付」と「入学手続時情報の入力・手続書類の送付」を必ず行ってください。
入学手続締切日までに手続を行わない場合は、入学を許可しません。

1．合格された方は「入学手続き」内、「入学手続の手引き」、「入学手続ガイダンスページ」で手続方法をよく確認のうえ、間違いのないようにしてください。
2．入学手続締切日までに上記手続が完了していない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。
3．納付金の納付は半期分納付と年額納付が選択できます。
4．提出する入学手続書類は、入学手続締切日当日の消印有効とします。ただし、**卒業証明書は必着です。**
5．納付した納付金のうち入学金、および提出した書類は入学手続完了の有無にかかわらず返還しません。

●入学手続　※入学手続締切日（P. 3～P. 4 参照）まで
⑴「入学手続き」にアクセスして、「入学手続時情報入力」に必要な項目を入力してください。
⑵「振込依頼書」をダウンロードして納付してください。金融機関領収印は締切日当日まで有効とします。
●入学後情報の入力　**※2027年 3 月31日（水）まで**
「入学手続き」にアクセスして、「入学後情報入力」に原則、全ての項目を入力してください。

納付金

・学内出身者は入学金を免除します。
・教科書等については、別途費用がかかります。　（単位：円）

区　　分	入学金	授業料	施設設備整備費	学生傷害保険料	合計（入学手続時）
	入学時のみ	半期分（年額）	半期分（年額）	入学時のみ	半期分納付の場合（年額納付の場合）
修　士　課　程	200,000	380,000（760,000）	100,000（200,000）	1,750	681,750（1,161,750）
博　士　課　程	200,000	380,000（760,000）	100,000（200,000）	2,600	682,600（1,162,600）

長期履修学生制度

社会人入学者を対象に、通常 2 年間で修了する課程を 3 年間で計画的に履修する制度です。
授業料は 2 年分を概ね 3 等分して納付いただきます。
なお、施設設備整備費は 3 年分納付いただきます。
※申請は出願時のみ受け付けます。入学後の変更はできません。

修　士　課　程	200,000	260,000（520,000）	100,000（200,000）	2,600	562,600（922,600）

※ 2 年次、 3 年次納付金（年額）：700,000円（授業料：500,000円、施設設備整備費：200,000円）

通常 3 年のところ 4 年かけて修了したいと希望する者（授業料 3 年分を概ね 4 等分。なお、施設設備整備費は 4 年分納付いただきます。）

博　士　課　程	200,000	285,000（570,000）	100,000（200,000）	3,300	588,300（973,300）

※ 2 年次～ 4 年次納付金（年額）：770,000円（授業料：570,000円、施設設備整備費：200,000円）

一般教育訓練制度

一般教育訓練給付制度とは、働く方の主体的な能力開発を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とした雇用保険の給付制度です。
一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する一般教育訓練講座を受講・修了した場合、教育訓練経費の20%（上限10万円）がハローワークから支給されます。
本学では、「一般教育訓練給付制度」の対象として、以下の課程が厚生労働大臣の指定を受けています。

研究科	専攻	課程	指定期間
情報科学研究科	情報科学専攻	修士課程	2025年10月１日～2028年９月30日
情報科学研究科	情報科学専攻	博士課程	2025年４月１日～2028年３月31日

制度の概要、対象者、申請方法等については、厚生労働省「教育訓練給付制度」をご確認ください。
制度の利用を希望する方は、事前に住所を管轄するハローワークにて、受給要件や手続き等の詳細をご確認ください。

提携教育ローン	本学では、株式会社ジャックスの提携教育ローン制度を導入しております。 （照会先）・株式会社ジャックス　コンシュマーデスク　TEL.0120-338-817 ・本学ホームページ（https://www.thu.ac.jp/exam/expenses/loan）
国の教育ローン	株式会社日本政策金融公庫　教育ローンコールセンター　TEL.0570－008656　https://www.jfc.go.jp/

入学許可の取消しについて

本学の合格通知を受けた方であっても、入学手続き完了の有無にかかわらず、以下のいずれかに該当する事由（事実）が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

1．出願書類や提出書類等に虚偽の記載、重大な事実の隠蔽、その他の不正行為があった場合
2．入学者選抜試験において、不正行為（カンニング等）があった場合
3．2027年３月31日までに、本学が定める入学資格を満たしていることが確認できない場合（卒業証明書等の未提出、在留資格「留学」の取得が確認できない場合等）
4．入学前において、法令に違反する行為、社会秩序を著しく乱す行為、または本学の名誉もしくは信用を損なう行為があった場合
5．その他、本学の学生として不適当と認められる重大な事由がある場合

※上記事由により入学許可が取り消された場合、すでに納付された入学金および学費等は返還しません。

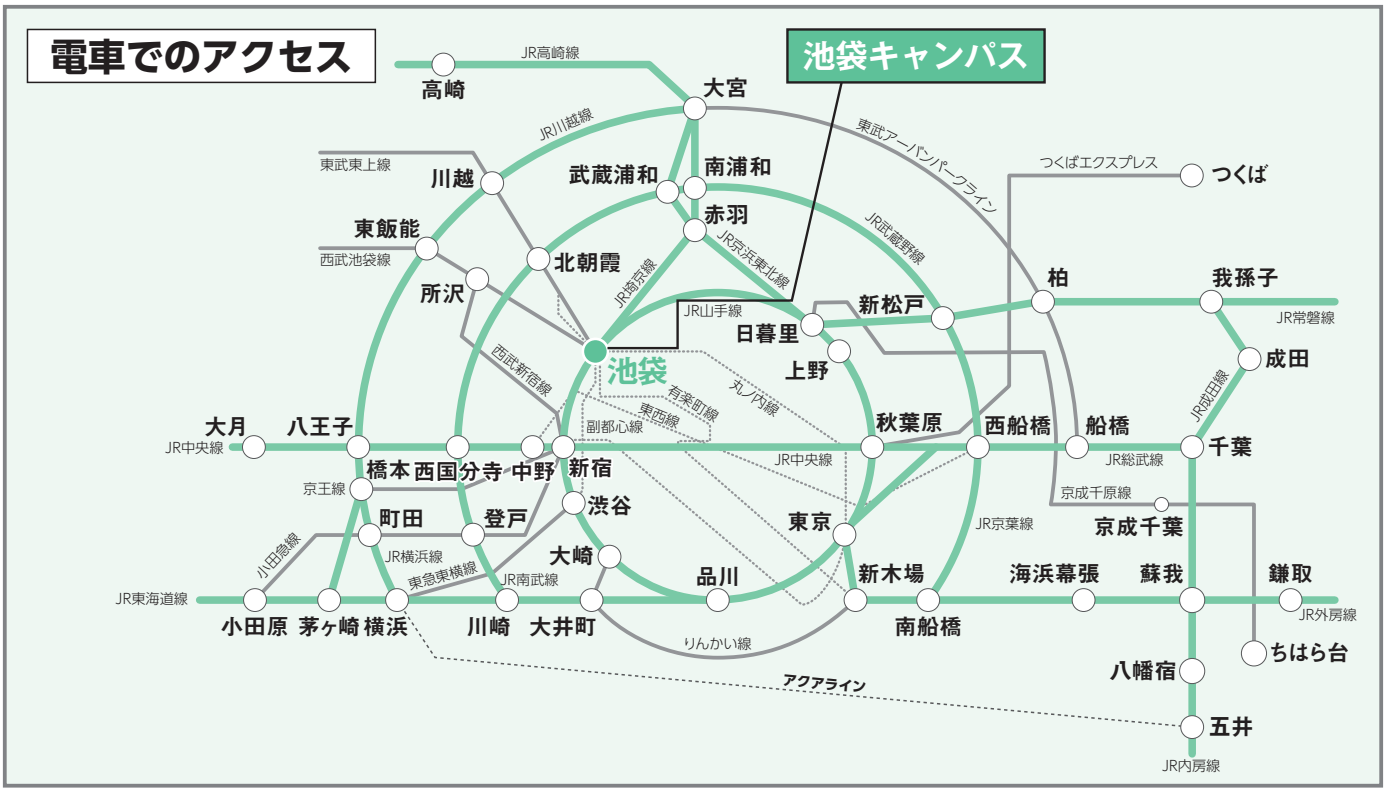
入学辞退手続

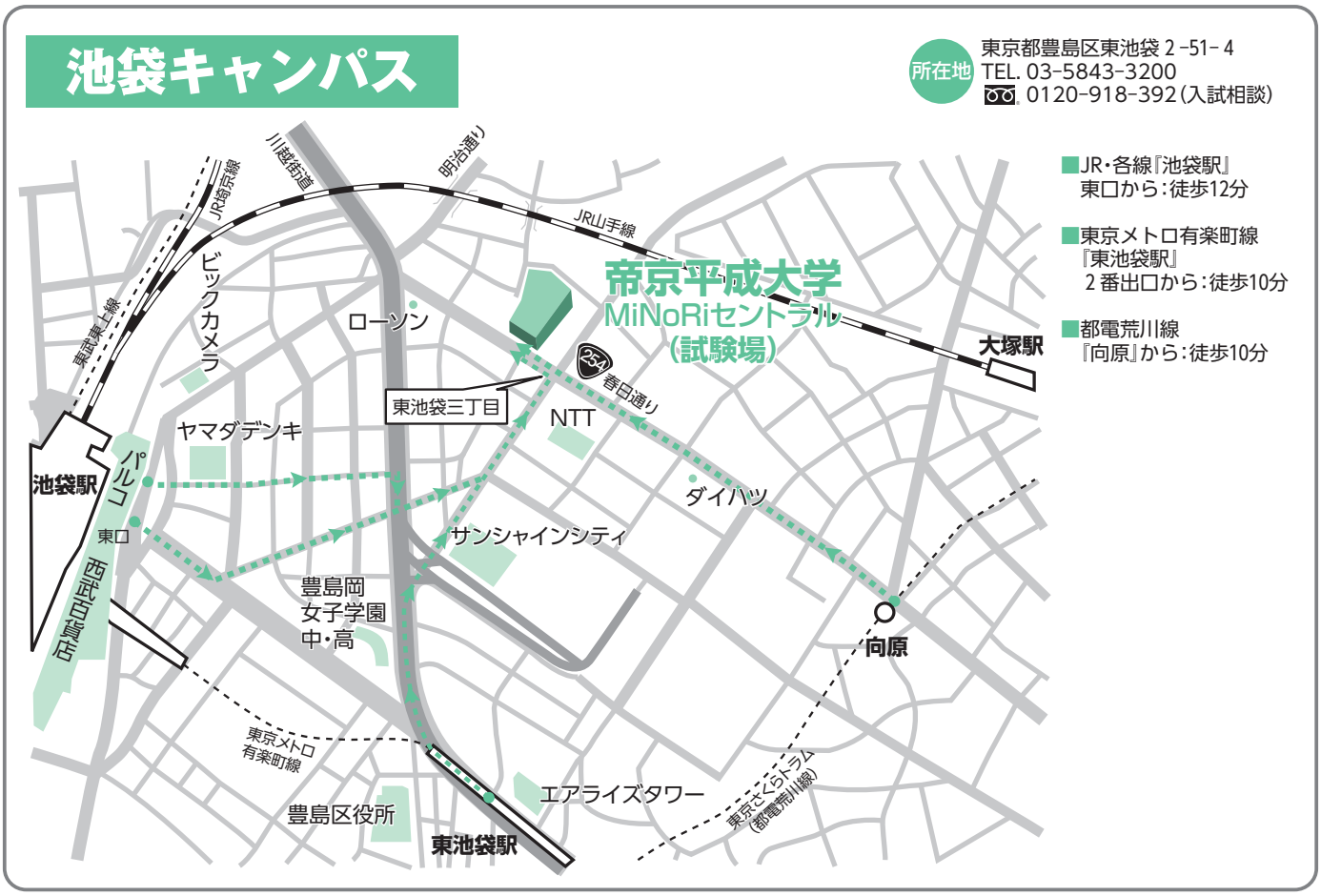
入学手続後に入学を辞退する方は、**2027年３月31日（水）16:00までに**入学手続ページ内の「入学辞退手続」ボタンから、入学辞退の申請手続を行ってください。手続完了後、入学金を除いた納付金の返還を受けることができます。

・入学辞退申請後の入学辞退の取消はできません。
・上記期限までに申し出のない場合、納付金は一切返還しません。
・納付金の返還は、申請日の翌月末に行います。

試験場案内図

事前の試験場の下見は、交通機関・道順・所要時間・試験場の位置を調べるにとどめてください。
試験場への立ち入りはできません。





情報科学研究科

修士課程　情報科学専攻 {社会情報学分野 / 健康情報学分野}

●授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
基礎科目	研究倫理学特論	経営科学における研究倫理の理解と実践マネジメント（企画、評価とその応用、実践活用、コンプライアンスチェック）の基礎と応用を理解し、将来にわたり様々な組織において検証、実践行動をすることができることを学修の手眼としています。
	アルゴリズム特論	本科目では、科学技術計算で用いる種々の数値解析法を、数値解法の導出・アルゴリズムの構築・プログラムの作成の手順を追って学修します。また、数値解法によって得られる近似解と、真の解との数学的厳密な誤差評価についても考察を行います。
	情報科学特論	情報科学は、現在のコンピュータを実現するための基盤となる知識を提供する学問であるとともに、未来のコンピューティングのあり方を模索する学問でもある。この授業を通して、ITの分野で有用となる知識を修得するとともに、将来のコンピューティングに対する独自の見解を述べられるようになることを目指す。
	情報システム特論	データ中心型IoTシステムを対象に、センサによるデータ収集から通信、データベースへの蓄積、分析・可視化、AIとの統合に至る一連の基本構造を体系的に学修し、情報システムに関する総合的な知識の修得を目的とする。さらに、その基盤となる分散アーキテクチャや通信プロトコルなどの基礎理論を学ぶ。これらの知識を統合し、IoT・AIシステムの全体構成を自ら設計するとともに、各構成要素の関連性やシステム全体の一貫性を論理的に説明できる能力を身につけることを到達目標とする。
	データサイエンス特論	データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解し、さらにコンピュータを用いて様々なデータを利活用する方法を学修する。Pythonを用いてデータを整理、集計、分析し、「データサイエンスとは何なのか」を深く理解し、データを利活用できるようになることを到達目標とする。
	システム設計学特論	オンライン決済やSNS、企業の基幹業務システムなど、情報システムは社会基盤として不可欠です。その障害や情報漏洩は社会に大きな影響を及ぼします。本講義では、利用者にはブラックボックスに見えていた情報システムの内側を、ATMやコンビニでの買い物といった身近な例を題材に概観します。 本授業では、①情報システムとは何か、②社会における情報システムの役割、③開発に必要な技術と方式についての理解を到達目標とし、開発者・利用者いずれの立場でも役立つ専門知識を修得します。
	地球環境情報特論	現在かかえている地球環境の課題を認識して、情報学の専門知識と技術を用い、高度の情報社会の中で持続可能な自然と人間が共生できる社会の維持と構築に向けて低炭素社会を軸に考えます。
	生体構造機能情報特論	生体模型や各種測定機器を使用し様々な角度から人体の構造と機能を理解します。特に客観的評価における骨格、筋等の運動器に関しての情報を収集し解析します。また運動器疾患を持つ患者に対する固定法や運動療法、装具療法なども学習します。
	人工知能特論	人工知能の活用事例、利活用上の課題から始め、個別の実現技術について、技術発展の経緯に沿いながら、演繹的方法、帰納的方法をバランスよく幅広く学修します。それぞれの実現技術の概要を正確に理解したうえで、社会的課題にAIを含んだシステムでどのように対応できるか、具体的に考え提案できるようになることを到達目標としています。
専門科目	統計解析特論	【学修内容】多変量解析における重回帰分析、数量化１類、判別分析など手法とその用途について学修する。 【学修方法】講義による理論や手法の説明を行い、確認としてドリルや小テストなどで理解度をはかる。さらに、演習としてExcelを用いた実際の計算を各自で行う。
	医療系データ解析特論	医学、薬学、公衆衛生学等の分野で用いられる様々なデータを概観することから医学、薬学、公衆衛生学で用いられるデータの種類を知り、標準的な解析手法を学ぶ。また最新の論文から最新の手法、および結果の表示等について学習する。
	シミュレーション特論	コンピュータシミュレーションを用いて、自然現象、社会現象、経営上の意思決定などの複雑な現象をモデル化し、分析する方法を学修する。Pythonを用いて様々なモデルを構築・実行し、結果を可視化・解釈するとともに、モデルの前提や限界を考察できるようになることを到達目標とする
	機械学習特論	受講生がそれぞれ専門とする分野において、機械学習や人工知能を用いて課題解決を図ることができるよう基礎技術を習得することを目的とする。具体的には、①基本的な機械学習アルゴリズム、深層学習ネットワークの概要を理解し、Pythonを用いてそれらを利用できること、②自身が専門とする分野において、機械学習・深層学習を適用することで解決できそうな課題を発見し、分析のプロセスを提案できることを到達目標とする。

●授業科目名等は変更になる場合があります。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
専門科目	モデリング特論	学問の分野を問わず不確実性を伴う現象をモデル化するために、様々な確率モデルが用いられている。本授業では、金融市場の不確実性を題材として、様々な現象のモデル化に利用されている確率論と確率過程論の基礎を学修することを目的とする。また、金融市場の確率変動モデルを利用した金融派生商品のプライシング理論も学修する。
	環境変遷学特論	地球環境科学に関わる諸問題について、気候変動と環境学の視点から文献の講読と議論を行い、環境変遷学の体系について紹介する。また、地図や資料等の判読・野外踏査について基礎的な事柄を解説する。そのうえで、室内外での調査手法のトレーニングを実施し、研究の進め方、成果のまとめ方と発表の仕方を修得させる。
	健康リスク分析特論	環境と調和した健全な経済産業活動や健康な生活の持続的な維持ができる社会機構の構築に向けて、主としてリスク評価を適切に実施できる実践の場に有用な技能を修得することができる。
	生命情報システム特論	本科目では、ペースメーカや植込み型除細動器などの植込み型デバイスのアルゴリズムに焦点を当てて学習する。主要目標は、これらのデバイスのアルゴリズムを徹底的に分析し、それを先端的な研究領域に応用する能力を養うことである。具体的には、ペースメーカ技術における心臓リズムの制御、生体情報のセンシング、複雑なデータ解析手法の探求が授業の中核を成す。
	健康支援特論	各年代の課題を示すことができる公的データを検討します。また、新規に示すためにはどのようなデータが必要か検討します。各課題に対し、健康な生活を維持できるよう支援する方法を学びます。
	医療情報解析特論	情報科学に基づいた医療情報システムの応用と、医療統計学の概念と応用例について深く学ぶ。具体的には、以下の点に重点を置く。 ・医療情報システムの構成要素: ハードウェアとソフトウェアの種類、それぞれの機能、システム全体における連携 ・医療情報システムの代表的なリスク: 情報漏洩、改ざんなど、セキュリティ面と運用面におけるリスクとその対策 ・医療統計学の基礎概念: 母集団、標本、推定、検定などの統計用語と、医療研究における具体的な活用例 ・医療統計分析の手法: 記述統計、推論統計、回帰分析などの統計手法とその適用分野 ・医療倫理と情報保護: 医療情報を取り扱う際の倫理的な課題と、情報セキュリティ対策の重要性
	生活環境学特論	地球環境の変化が生活環境と健康に及ぼす影響の現状とそのメカニズムを学び、安全で安心できる生活環境の創生に貢献できる、実現の可能性がある具体的な今後の対策や行動を考えます。
	都市空間情報特論	都市空間情報全般にわたる理解を調査・分析、ディスカッション、発表等を通して深めていく。また、都市機能維持のための施設配置や、空間形態と周辺環境の関係性等に着目し、それらの課題を解決するための提案を行う。
	疫学分析特論	医学、薬学、公衆衛生学等の分野で用いられる研究デザインに基づいて、データの収集、データの保管、データの利用、結果の表示等について学習する。個人情報保護の観点からデータ利用の作法を学習する。また標準的なデータ解析手法から最新の手法について学習する。
研究科目	情報科学特別研究	担当教員の指導の下で、調査、問題発見、問題解決、分析、検証、考察・評価、論文作成、発表、討論など、研究に関する技能を実践しながら学ぶ。２年間に渡って研究・調査を実施して、修士論文としてまとめる。
	情報科学研究実習	１年次または１年次と２年次の間の講義予定がない期間（夏期休暇中など）に、研究関連分野の官公庁・民間企業の研究所・工場などで、約２週間、実際の業務の一員として研究実習を体験することにより、研究室で養成される研究実施に必須な専門分野の知識と技能に加えて、実務に必要な実学的知見や技能、及び専門分野における知識と技能に立脚した応用力・洞察力・総合判断力・実行力・問題解決能力・指導力を学ぶ。

● 授業科目名等は変更になる場合があります。

情報科学研究科

修士課程　情報科学専攻 {社会情報学分野 / 健康情報学分野}

●教育研究および担当教員

分野	研究指導分野	研究指導内容	担当教員
社会情報	データサイエンス	データサイエンスとは、データを扱うための統計的・数理的な技術とその応用の研究で、従来の伝統的理論や手法とは異なる観点から、データによって真実を明らかにするものです。その中で、Webデータやセンシングデータなどの実データを分析し、ビジネスや社会での現実問題に貢献する技術について研究します。	教　授　村　川　賀　彦
	センシング工学	感染症拡大など様々な場面で人の流れの把握が社会的重要性を増しています。無線技術を応用したセンシングと、AI・機械学習などを応用したデータ分析手法を組み合わせ、プライバシー保護を考慮した高精度な人の動きの推定方法を研究します。	教　授　鈴　木　昭　浩
	並列分散処理及び分散コンピューティング	インターネットを代表とするコンピューター・ネットワークが多く利用されています。最近ではIoTと呼ばれる「物をインターネットに接続」し、得られたデータの活用がされています。これらに関する課題を選定し、最新の技術情報の分析を通して研究を進め専門的知識を修得します。必要に応じてIoTシステムを構築し実用的な技術を修得し研究を深めていきます。	教　授　藤　井　愼　裕
	データ駆動型数理科学	現象をモデル化する理論科学的手法やコンピュータ・シミュレーションによる計算科学的手法に加え、応用機械学習やデータ駆動型モデリングによる解析・予測を取り入れ、現象の理解と構造の解明に活用します。これらを統合し、数理モデルとデータ科学の融合を通じて、自然現象や社会現象の背後にある構造やメカニズムの解明を目指します。	教　授　吉　岡　剛　志
	地学・自然地理学・自然災害科学	地学・地理学教育の手法研究と実践、気候変動（温暖化）による環境変化と防災	教　授　小　森　次　郎
	都市・建築学（計画学）	都市・建築学に関する課題を選定し、国内外でのフィールドワークと調査・分析を通して、地域に提案をします。研究テーマとしては「文化遺産と防災」、「レジリエントな空間とコミュニティ」、「伝統住居群の住環境」などが挙げられます。	教　授　狩　野　朋　子
	画像認識	コンピュータを用いて、デジタル画像の分類や物体検出を行う画像認識に関する研究開発を行います。具体的には、ノイズや圧縮のある静止画を入力する深層学習ネットワークの性能向上に関連する研究を行います。	教　授　遠　藤　和　紀
	詳細が決まり次第、更新いたします。	詳細が決まり次第、更新いたします。	教　授　小　林　泰　之
	情報の表現とビジュアライゼーション	ネットワーク技術やデジタル化技術が発達し、多種多様なデジタルコンテンツを入手できるようになりました。氾濫するコンテンツ間の多様な関係を構造で表すことを軸として、多面性、多様性が感じられるようなグラフの可視化手法、人が楽しめるインタラクション方法（関連するモノとの出会いを提供）を探求し、新たな知見や、新しい関係の発見を目指します。	准教授　石　川　尋　代
	並列処理	世界的に計算需要が増加する中で、より短い時間で計算を完了する並列処理方式が注目されています。並列計算システムの提案・設計・構築を通じた実験的な研究、あるいはプログラムの振る舞いモデルの解析を用いる理論的な研究によって、実用的な知見を得られるように指導します。	准教授　米　澤　直　記
	経営情報論	経営に資する情報システムの諸相を考えるのが経営情報論です。ですので実務的な問題意識に根ざしたテーマを論じます。問題にアプローチする手法は理論研究・文献研究、シミュレーションもありますが、やはり実際の問題に答えを出すには実証研究がやはり決定的といえるでしょう。インタビュー、アンケート、現場観察・データ採取など現場から得られる情報を分析して新しいファクトを見出すことを目指します。	准教授　礒　部　　大

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

分野	研究指導分野	研究指導内容	担当教員
社会情報	理論経済学（情報化と経済成長、ニューエコノミー論）	情報通信技術の発展が経済・社会に及ぼす影響について、経済学的視点から研究します。特に、ニューエコノミー論をはじめ、情報化と経済成長、生産性、産業構造等との関係について、経済理論や先行研究、統計資料等を用いて分析します。これらの研究領域に関連する課題を選定し、研究を進めます。	准教授　照屋健作
健康情報	生体分子情報学	生体では、ホルモンや低分子物質が細胞間で情報伝達することによって多細胞社会が形成されています。遺伝子など多様な物質を含んでいる新規の細胞間情報伝達体である小胞を中心に、分子情報によって生体システムが制御されるしくみについて研究を行います。	教授　矢ノ下良平
	薬物動態情報学	脳の病気の治療薬を開発するうえで、薬が脳まで届くかどうかは非常に重要です。しかし、脳には有害物質の侵入を防ぐ仕組みがあるため、薬がどの程度脳に届くかを予測することは簡単ではありません。本研究では、実験データとAI技術を活用し、薬の脳への届きやすさを高精度に予測する技術の開発を目指します。	教授　出口芳春
	保健医療（教育）運動器外傷	保健医療分野の教育に関する研究をします。大学生のジェネリックスキル低下について問題点をまとめ、その対策として医療専門知識と技術の向上について効果的な手法や評価方法などを研究します。テーマは主に運動器の外傷および障害の機序を解析し、予防に役立てる研究とします。	教授　田宮慎二
	人工臓器学	人工臓器のなかでも、人工腎臓である血液透析膜の生体適合性の解明を行います。	教授　東郷好美
	作業療法実践	疾病や障害の有無、年齢にかかわらず、その人らしい生活と社会参加を支えるためには、作業、生活行為、生活環境を包括的に捉えることが重要です。生活行為や運転・地域での移動をはじめとする地域生活上の課題を対象に、作業遂行や身体動作の客観的評価も取り入れながら、作業療法の評価および支援の発展につながる研究を行います。	教授　根本悟子
	医療・健康AI	時系列データを処理できるAIを、臨床診断の支援、救急救命処置の遠隔支援（エッジAI）、高精度の姿勢推定やリハビリテーション等に活用する研究を行います。また、認知と言語の関係等をAIを使って分析し、人の知能そのものに関する知見を蓄積します。	教授　後藤哲史
	臨床心理学分野	臨床心理学では、対象者の状態を把握するアセスメントと、それに基づく心理的支援が中心となります。研究では、こうした支援の方法や効果について実証的に検討することが求められます。テーマとしては、心理支援と情報技術の連携をテーマとした実践的な研究について指導を行います。	教授　松浦正一
	健康支援・増進	地域在住高齢者の健康に寄与する因子について、２次データや、調査データを用いて分析を行います。	准教授　知脇　希
	理学療法治療学	理学療法における対象者への介入は評価および治療が中心となる。対象者に対して適切な検査を実施し、その結果から適切な問題点を抽出する評価を行い、それに対して適切な治療方法を選択する必要がある。研究テーマに関しては理学療法評価および治療的介入に関して行う。	准教授　芳野　純
	生体情報計測	非侵襲的な生体情報計測手法により得られた情報から、生理機能変化に伴う生体情報の抽出を行います。特に、脳波、筋電図、心電図からの生体リズム情報と機能的変化との比較をして疾患推定手法と医用診断補助システムへの応用も行います。	准教授　松﨑晴康
	東洋医学（鍼灸）	筋の痛みを中心とした疼痛疾患に対する鍼灸治療の作用メカニズムや、その臨床的役割に関する研究指導を行います。	准教授　皆川陽一

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

分野	研究指導分野	研究指導内容	担当教員
健康情報	医用画像AI・基盤モデル	CT・MRI・PETなどの医用画像と臨床データを対象に、深層学習を用いた画像の再構成・補正、病変の検出、予後予測に関する研究を行います。また、大規模な計算資源に頼らずに動作する省資源型のAI基盤モデルを設計し、公開医学データを用いて信頼性・不確実性・外部汎化性能を検証する研究にも取り組みます。	准教授　平原大助

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

情報科学研究科

博士課程　情報科学専攻

●授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
専門科目	数理情報科学特講	本科目では、統計処理における非線形解析と、決定論的な方程式による非線形現象について学修します。また、具体的な処理方法としての計算技法も学修し、種々の問題への応用例に関して議論を行います。
	情報システム特講	情報システムとは何か、すぐれた情報システムの設計法、データベースの構築法、いろいろな情報システムの解説等、国際会議の最新の研究論文等を広くサーベイして、情報システムに関する最新の研究と今後の動向を学修する。
	データサイエンス特講	コンピュータの様々なアプリケーションを駆使してデータを整理、集計、分析し、データを自由自在に利活用できるようになることを到達目標とする。さらに、研究に必要な文献や情報の検索、収集・整理する技能を修得することはもちろんのこと、研究計画を企画・立案する手法と理論の組み立て方を修得する。
	地球環境情報特講	現在かかえている地球環境の課題をとりあげ、情報学の専門知識と技術を用い、高度の情報社会の中で持続可能な自然と人間が共生できる社会の創生に貢献できる技術開発と今後の対策や行動を考えます。
	生体構造機能情報特講	生体模型や各種測定機器を使用し様々な角度から人体の構造と機能を理解します。特に客観的評価における骨格、筋等の運動器に関しての情報を収集し解析します。また運動器疾患を持つ患者に対する固定法や運動療法、装具療法なども学習します。
	健康リスク分析学特講	リスクアセスメント、リスクマネジメント、リスクコミュニケーションを一体として理解し、環境と調和した健全な経済産業活動や健康な生活の持続的な維持ができる社会機構の構築に貢献できる実践力が修得できる。
	統計解析特講	【学修内容】多変量解析における重回帰分析、数量化１類、判別分析、数量化２類、主成分分析、数量化３類、クラスター分析など手法とその用途について学修する。 【学修方法】講義による理論や手法の説明を行い、確認としてドリルや小テストなどで理解度をはかる。さらに、演習としてExcelを用いた実際の計算を各自で行う。
	シミュレーション特講	理論、データおよび計算を結びつける研究方法としてシミュレーションを学修し、モデルの前提、検証方法、妥当性、意義および限界を多面的に検討する。さらに、自らの研究テーマに適したシミュレーション手法を選択し、理論的根拠と研究課題を明確にした研究計画を企画・立案できるようになることを到達目標とする。
	知識情報システム特講	知識情報システム特論で学んだ知識情報システムの概論から進展して、受講者それぞれの研究課題に則した知識情報システムの現状と先端問題を取り上げる。関連資料の収集整理と要約作成を行い発表する。討論を通じて専門研究の本質的理解と講演技能の向上を目標とする。
	モデリング特講	学問の分野を問わず不確実性を伴う現象をモデル化するために、様々な確率モデルが用いられている。本授業では、金融市場の不確実性を題材として、様々な現象のモデル化に利用されている確率論と確率過程論の基礎を学修することを目的とする。また、金融市場の確率変動モデルを利用した金融派生商品のプライシング理論も学修する。
	環境変遷学特講	地球環境科学に関わる諸問題について、環境変遷学の視点から研究対象を設定し、関連する資料の収集と論文の講読、更に現地踏査を通して報告書を作成する。特に、過去の環境変遷の記録を解明するための調査技術を実際のフィールドに適用させ、自ら一連の研究を遂行できる能力を修得させる。
	生命情報システム特講	本講義は、ペースメーカや植込み型人工心臓などの植込み型デバイスのアルゴリズムに関する学習を中心に展開する。これらのデバイスのアルゴリズムについて研究し、その知見を自身の研究に応用する能力を養うことを目的とする。具体的には、心臓のリズムを制御するペースメーカ技術、生体情報のセンシング、およびデータ解析に関する最新の研究を学ぶ。さらに、医療技術の進歩と情報システムの融合を理解し、生命科学と工学の両分野における最先端の知識を習得することを目指す。
	生体高分子情報特講	生物科学と高分子科学はそれぞれ独立した学問・研究領域として発展してきた。最近この二つの学問境界に位置する新しい研究領域の重要性が高まってきた。生命現象を演出している遺伝子、タンパク質、複合糖質などのほとんどが「生体高分子」という高分子化合物で成り立っている。さらに、細胞がこれらの生体高分子の分子集合体であることを考え合わせると、この境界領域の重要性が理解できる。本講義では工学的な視点から生物および生体高分子の構造と機能や生命現象をとらえ理解することを目標とする。

●授業科目名等は変更になる場合があります。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
専門科目	医療情報解析特講	本講義では、主要な医療関連法規、保健医療福祉専門職の役割、各種ハードウェアおよびソフトウェアの種類と機能、ネットワーク関連用語、情報システムに関する代表的なリスク、ならびに統計手法の基本的な用語について学ぶ。
	健康支援特講	各学生の研究テーマに合わせて現状の健康課題をデータで示すための指標を検討します。また、その指標を改善させるための政策、介入について検討し、記述統計、推測統計を用いて効果を検討します。
	生活環境学特講	生活環境や社会で危惧されている課題を取り上げ、安全で安心できる持続可能な生活環境の創生に貢献できる、情報学の専門知識と技術を基に他分野の領域と協働した技術開発と対策を考えます。
	都市空間情報特講	マスタープラン、土地利用ならびに都市空間の評価手法等について理解を深める。また空間形態に基づく都市・地域の評価を行うために、対象地におけるフィールドワークを実施し、空間情報を用いた分析や記述を行う。
研究科目	情報科学特別研究	各担当教員の指導のもとに、論文の作成に向けて研究・調査を実施し、研究計画の立案、研究の実施、研究成果と考察を論理的に説明できる技能、研究専門分野に関する情報収集および解析する技能、課題解決に取り組むための技能を醸成する。国内外の研究会や学会などで発表、論文投稿を積極的に行い、研究成果を発表する技能を醸成する。専門分野の研究者との交流を通して意見交換する幅広い知識と論理性、理解力を醸成し、幅広い視野に立って課題解決に向けた研究活動をおこなう能力、高度の専門的業務で必要とされる研究遂行能力を実践できる技能を醸成する。

● 授業科目名等は変更になる場合があります。

情報科学研究科

博士課程　情報科学専攻

●教育研究および担当教員

研究指導分野	研究指導内容	担当教員		
データサイエンス	データサイエンスとは、データを扱うための統計的・数理的な技術とその応用の研究で、従来の伝統的理論や手法とは異なる観点から、データによって真実を明らかにするものです。その中で、Webデータやセンシングデータなどの実データを分析し、ビジネスや社会での現実問題に貢献する技術について研究します。	教　授	博士 (情報科学)	村　川　賀　彦
並列分散処理及び 分散コンピューティング	インターネットを代表とするコンピューター・ネットワークが多く利用されています。最近ではIoTと呼ばれる「物をインターネットに接続」し、得られたデータの活用がされています。これらに関する課題を選定し、最新の技術情報の分析を通して研究を進め専門的知識を修得します。必要に応じてIoTシステムを構築し実用的な技術を修得し研究を深めて行きます。	教　授	博士(理学)	藤　井　愼　裕
データ駆動型数理科学	現象をモデル化する理論科学的手法やコンピュータ・シミュレーションによる計算科学的手法に加え、応用機械学習やデータ駆動型モデリングによる解析・予測を取り入れ、現象の理解と構造の解明に活用します。これらを統合し、数理モデルとデータ科学の融合を通じて、自然現象や社会現象の背後にある構造やメカニズムの解明を目指します。	教　授	博士(工学)	吉　岡　剛　志
地学・自然地理学・ 自然災害科学	地学・地理学教育の手法研究と実践、気候変動(温暖化)による環境変化と防災	教　授	博士(理学)	小　森　次　郎
都市・建築学(計画学)	都市・建築学に関する課題を選定し、国内外でのフィールドワークと調査・分析を通して、地域に提案をします。研究テーマとしては「文化遺産と防災」、「レジリエントな空間とコミュニティ」、「伝統住居群の住環境」などが挙げられます。	教　授	博士(工学)	狩　野　朋　子
画像認識	コンピュータを用いて、デジタル画像の分類や物体検出を行う画像認識に関する研究開発を行います。具体的には、ノイズや圧縮のある静止画を入力とする深層学習ネットワークの性能向上に関連する研究を行います。	教　授	博士(工学)	遠　藤　和　紀
詳細が決まり次第、更新いたします。	詳細が決まり次第、更新いたします。	教　授	博士(医学)	小　林　泰　之
情報の表現と ビジュアライゼーション	ネットワーク技術やデジタル化技術が発達し、多種多様なデジタルコンテンツを入手できるようになりました。氾濫するコンテンツ間の多様な関係を構造で表すことを軸として、多面性、多様性が感じられるようなグラフの可視化手法、人が楽しめるインタクション方法(関連するモノとの出会いを提供)を探求し、新たな知見や、新しい関係の発見を目指します。	准教授	博士(工学)	石　川　尋　代
並列処理	世界的に計算需要が増加する中で、より短い時間で計算を完了する並列処理方式が注目されています。並列計算システムの提案・設計・構築を通じた実験的な研究、あるいはプログラムの振る舞いモデルの解析を用いる理論的な研究によって、実用的な知見を得られるように指導します。	准教授	博士(理学)	米　澤　直　記
国際情報通信学、情報文化学、情報保存学、経営情報学	主に、デジタルアーカイブに関する研究を行います。 この世に中には、様々な情報が流れており、そうした情報のひとつひとつを、デジタル化して後世に継承して行くための方法論を研究します。 また、歴史的建造物のデジタルアーカイブが専門であるため、歴史的建造物のデジタル化や都市景観のデジタル化なども研究指導できます。	准教授	博士 (国際情報通信学)	内　藤　旭　惠

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

研究指導分野	研究指導内容	担当教員		
生体分子情報学	生体では、ホルモンや低分子物質が細胞間で情報伝達することによって多細胞社会が形成されています。遺伝子など多様な物質を含んでいる新規の細胞間情報伝達体である小胞を中心に、分子情報によって生体システムが制御されるしくみについて研究を行います。	教　授	薬学博士	矢ノ下　良　平
薬物動態情報学	脳の病気の治療薬を開発するうえで、薬が脳まで届くかどうかは非常に重要です。しかし、脳には有害物質の侵入を防ぐ仕組みがあるため、薬がどの程度脳に届くかを予測することは簡単ではありません。本研究では、実験データとAI技術を活用し、薬の脳への届きやすさを高精度に予測する技術の開発を目指します。	教　授	博士(薬学)	出　口　芳　春
保健医療(教育)	保健医療分野の教育に関する研究をします。現在、国内外で問題となっている大学生のジェネリックスキル低下について、その対策や実践などをまとめます。また、医療専門知識と技術の向上について効果的な手法や評価方法などを研究します。	教　授	博士 (健康科学)	田　宮　慎　二
人工臓器学	人工臓器の中でも、人工腎臓内部の血液透析膜の生体適合性の解明を行います。	教　授	博士(医学)	東　郷　好　美
医療・健康AI	時系列データを処理できるAIを、臨床診断の支援、救急救命処置の遠隔支援(エッジAI)、高精度の姿勢推定やリハビリテーション等に活用する研究を行います。また、認知と言語の関係等をAIを使って分析し、人の知能そのものに関する知見を蓄積します。	教　授	博士 (情報科学)	後　藤　哲　史
臨床心理学分野	臨床心理学では、対象者の状態を把握するアセスメントと、それに基づく心理的支援が中心となります。研究では、こうした支援の方法や効果について実証的に検討することが求められます。テーマとしては、心理支援と情報技術の連携をテーマとした実践的な研究について指導を行います。	教　授	博士 (心理学)	松　浦　正　一
健康支援・増進	地域在住高齢者の健康に寄与する因子について、２次データや、調査データを用いて分析を行います。	准教授	博士 (社会科学)	知　脇　　希
理学療法治療学	理学療法における対象者への介入は評価および治療が中心となる。 対象者に対して適切な検査を実施し、その結果から適切な問題点を抽出する評価を行い、それに対して適切な治療方法を選択する 必要がある。研究テーマに関しては理学療法評価および治療的介入に関して行う。	准教授	博士 (保健学)	芳　野　　純
生体情報計測	非侵襲的な生体情報計測手法により得られた情報から、生理機能変化に伴う生体情報の抽出を行います。特に、脳波、筋電図、心電図からの生体リズム情報と機能的変化との比較をして疾患推定手法と医用診断補助システムへの応用も行います。	准教授	博士 (情報学)	松　﨑　晴　康
東洋医学(鍼灸)	筋肉の痛みを中心としたさまざまな疼痛に対する鍼灸の作用と、臨床での意義について研究指導を行っています。	准教授	博士 (鍼灸学)	皆　川　陽　一

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

Q＆A

帝京平成大学大学院　情報科学研究科【修士課程・博士課程】

単位認定について

Q：大学院中退ですが、以前通学していた大学院での修得単位は認定されますか？

A：修得内容を確認のうえ、認定の可否を判断します。

Q：科目等履修生で、既に修得した単位は認定されますか？

A：修得内容を確認のうえ、認定の可否を判断します。

研究テーマ・担当教員について

Q：研究テーマ・担当教員はどのように決めるのですか？

A：出願前に担当希望教員と事前面談を行います。正式な担当教員は入学者選抜試験合格後に決定し、入学後に担当教員と協議して研究テーマを決めます。

授業料後払い制度について

Q：大学院修士段階における「授業料後払い制度」は利用できますか？

A：利用できます。詳細は本学ホームページをご確認ください。

研究環境について

Q：図書館ではどのようなサービスを提供していますか？　図書館の開館曜日・時間帯はどのようになっていますか？

A：図書館では、図書の貸出・予約・購入希望申込受付・文献複写・情報端末の利用・コピー等のサービスを提供しています。図書の貸出冊数は５冊まで、期間は28日間です（長期休暇時は長期貸出を行います）。開館時間は、平日8:45～21:30、土曜日8:45～17:00です（長期休暇時は時間変更の場合があります）。日曜・祝祭日・年末年始などは休館です。

出願書類の受付について

Q：出願書類の窓口受付はしていますか？

A：受験料の支払いを済ませてから、出願書類を入試課へ出願期間内に持参してください。
受付時間　平日9:00～16:00　　土曜日9:00～12:00
日曜、祝日の事務取扱いはいたしません。
また、9/26、2/13は入館不可となるためご注意ください。
池袋キャンパス　MiNoRiセントラル　入試課以外では、窓口受付はしておりません。

入学選考関係について

Q：出願書類に不備があった場合は、どうなりますか？

A：出願書類に不備がある場合は受理できませんので、ご注意ください。

Q：合否判定の基準はありますか？

A：筆記試験・面接（博士課程は、口述試験）・書類審査などで総合的に判定します。

Q：合格発表はどのような方法で行われますか？

A：合格発表日（13:00～）から入学手続締切日（～23:59）まで、インターネットによる合否照会を実施します。
なお、合否照会の方法については、P.12をご覧ください。

その他

Q：通学にあたり、学生向けの駐車場・駐輪場はありますか？

A：駐車場はありません。
駐輪場はありますが、利用する場合は、入学後に申請が必要です。

Q：就職活動の支援を受けられますか？

A：就職支援室にて、履歴書添削や面接練習をはじめ、個別相談などの支援を受けることができます。
また、求人検索などができる本学独自の就職支援サイト「帝京平成大学キャリアナビ」の利用が可能です。

帝京平成大学大学院

TEIKYO

2027年度

入学者選抜要項

●情報科学研究科（通信制）

はじめに P.29
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） P.30

入学者選抜概要 P.31

情報科学研究科（通信制）
修士課程 P.31

出願手続 P.33

出願から入学手続まで P.33
出願に必要な書類 P.34
受験料支払い P.38
出願書類提出方法 P.38
受験上の注意 P.39

合格発表・入学手続 P.40

合格発表 P.40
入学手続 P.41
納付金 P.41

研究指導内容 P.42

修士課程 P.42

大　学　院

■情報科学研究科（通信制）

情報科学専攻（修士課程）
社会情報学分野
健康情報学分野

はじめに

受験生の皆様へ

この入学者選抜要項には、出願手続から入学手続完了までのすべてが記載されています。まず一通り熟読し、そのうえで必要なページを読み返し、誤りのないよう出願を行ってください。

また、出願後、本人の入力ミス等による出願内容の変更は、いかなる場合もできませんので注意してください。

受験上の合理的配慮について

本学では、障がいのある受験生が、他の受験生と同様に能力を発揮できるよう、受験上の合理的配慮に関する申請を受け付けています。出願に先立ち、必ず通信教育係へご相談ください。

なお、以下のような配慮については、個別の状況に応じて検討いたします。

・別室での受験
・座席の配慮
・補助具（ルーペ、補聴器等）の使用許可
・試験監督者による口頭説明の補足（聴覚・視覚障害に応じて）

受験上の配慮を希望される場合は、診断書（原本）や配慮希望内容を記載した書面（メモ書き等）をご用意のうえ、出願開始の２週間前までに通信教育係へお問い合わせください。

試験を欠席した場合の振替はありません。

お問い合わせ先　帝京平成大学 中野キャンパス 通信教育係　TEL：03-5860-4728

「個人情報の取り扱いについて」

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は本学におきまして入学案内、入学試験に関する業務を行うために利用します。
この業務の一部は、本学より当該業務の一部を委託した業者（以下、「受託業者」という）にて行います。業務委託にあたり、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

「安全保障輸出管理について」

帝京平成大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「帝京平成大学安全保障輸出管理規程」を定め、安全保障輸出管理を実施しています。そのため、入学時及び入学後の教育・研究活動等に際して、必要に応じて確認を行う場合があります。なお、外国籍の方または在留資格が「留学」である方については、安全保障輸出管理上の確認のため、所定の誓約書を提出していただきます。確認及び誓約書の内容等に基づき、法令等の規制に該当すると判断された場合は、希望する研究活動や教育内容の一部に制限が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【通信制大学院　情報科学研究科】

情報科学専攻［修士課程］

通信制大学院　情報科学研究科　情報科学専攻（修士課程）は、人間の健康や社会生活に影響を及ぼす自然と生活環境の要因を対象に、情報学・情報工学を含めた多様な学術領域の知識や技術を用いて、的確に分析、評価、予測することにより、人間が健全でより良い生活を送ることができる社会環境と生活環境を構築できる人材の養成のため、以下の入学者を求める。

①多角的・学際的視野と各専門分野における高度な専門的実践能力を身につけ、現代社会の発展と変革にともなう種々の問題に応えるために、実社会において活躍・貢献したいと志している。
②探究心をもって地道な努力をいとわず研究に励む決意がある。
③人間の健康および幸福と福祉に貢献する志をもっている。
④学部卒業後、社会人としての実社会での活動を通して、さらなる専門能力のステップアップ、研究活動の必要性を認識している。

課程修了の認定および学位

課程	在学期間	修得単位および条件	学位
修士	修士課程 2 年以上 4 年以下	・30単位以上修得すること（必修科目を含む） ただし、選択必修科目から 6 単位以上修得すること ・学位論文の審査および試験に合格した者	修士（情報学）

教育研究の方法

通信制大学院の教育・研究指導は、大きく分けて次の3つの方法で行われます。

①通信科目
院生は指定のテキストや参考文献・資料などを利用し在宅で学修します。レポートを提出し、科目担当教員より添削、採点、講評を受けます。レポートと科目修得試験に合格すれば単位修得となります。

②研究実習（スクーリング）
原則として 1 年次の夏期（7～8 月）または春期（2～3 月）期間中、本学の施設・設備を使用し研究実習を行います。この期間に指導教員から実習課題について直接指導を受けます。その成果を研究実習報告会で報告し、審査に合格すると単位が認められます。

③特別研究
指導教員のもとで特別研究（研究・修士論文の作成）を行います。指導教員が提示した複数の課題、あるいは院生が提案した課題の中から、指導教員と協議して一つを選びます。中間発表会・最終発表会を開催し、研究報告および修士論文の評価を行います。なお、企業などに勤務している、あるいは勤務経験のある院生は、妥当な範囲で実務経験を研究成果の一部として取り入れることができます。

情報科学研究科（通信制）入学者選抜概要

修士課程　情報科学専攻

事務局 所在キャンパス 中野

1. 募集人員

情報科学専攻 ｛社会情報学分野／健康情報学分野｝　全分野で**50名**

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

⑴ 大学を卒業した者（2027年３月卒業見込みの者を含む）。

⑵ 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2027年３月までに授与される見込みの者。

⑶ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または2027年３月までに修了見込みの者。

⑷ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者または2027年３月までに修了見込みの者。

⑸ 我が国において、外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年３月修了見込みの者。

⑹ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準に該当する者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年３月末までに修了見込みの者。

⑺ 文部科学大臣の指定した者。

⑻ 2027年４月１日現在で満22歳以上であり、本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

※（注）１　出願資格⑻で出願しようとする者は下記「入学資格審査」を確認すること。

入学資格審査

申請条件：実用英語技能検定２級以上、またはその他の英語検定試験において同等以上の技能を有する者

出願資格⑻に該当する方は、下記条件の証明書のコピーを提出してください。

英語資格・検定試験名	基準スコア	証明書類
ケンブリッジ英語検定	B1 Preliminary 以上	認定証（Certificate） または 認定ステートメント（certifying statement）
実用英語技能検定	２級以上	合格証明書またはCSEスコア証明書
GTEC	910 以上	OFFICIAL SCORE CERTICATE （オフィシャルスコアに限る）
GTEC CBT	840 以上	
IELTS	4.0 以上	成績証明書（Test Report Form）
TEAP（４技能）	225 以上	TEAP成績表 （同一実施回のスコアのみ有効とする。）
TEAP（２技能）	106 以上	
TEAP CBT	420 以上	
TOEFL iBT	42 以上	Test Taker Score Report または Examinee Score Report
TOEIC L&R/TOEIC S&W	780 以上かつS&Wの各技能140 以上	Official Score Certificate（公式認定証）
TOEIC L&R	500 以上	

※（注）２　出願資格⑻で出願しようとする方は、出願資格について確認させていただきますので、出願に先立ち通信教育係まで連絡をお願いします。

※（注）３　受験申込み前に、指導を希望する教員に連絡、研究指導に関する了解を得ること。

3. 試験日・試験場

試験区分	出願期間（出願期間内必着）	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験場
前期（4月1日入学）	2027年2月1日(日)～2月25日(木)	3月14日(日)	3月16日(火)	3月23日(火)	帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル
後期（10月1日入学）	日程は決まり次第ホームページで公表				

4. 選考方法　筆記試験・面接・書類審査などで総合的に判定します。

(1) **筆記試験**

①**英語**：辞書は大学より貸与

②**小論文**

(2) **面接**

希望する研究分野別に研究計画等について行います。

5. 時間割　9:00までに試験場に集合してください。

面接の終了時間は順番によって異なります。

受験上の注意	英語	小論文	面接
9:15～9:30	9:30～10:30	10:50～11:50	12:00～

※最終入室時間は試験開始20分後まで（9:50）となります。

出願から入学手続まで

重要 大学院担当教員への連絡	●教育研究および担当教員(P.44～P.46)のページを参照し、本学の研究指導内容を確認してください。 ●**出願する前に担当希望教員とご相談ください。**なお、担当希望教員の連絡先は中野キャンパス通信教育係(TEL.03-5860-4728)にお問い合せください。**担当教員が決まらない場合、出願することはできません。**

1	**事前準備** (P.34～P.35参照)	■出願に必要な書類の準備 ■メールアドレスの準備 ■顔写真データの準備
2	**インターネット出願登録** (P.35～P.37参照)	■個人情報・顔写真データ・出願情報の登録 ■インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順
3	**受験料支払い** (P.37～P.38参照)	■インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順 ■受験料 ■受験料支払い方法
4	**出願書類提出方法** (P.38参照)	■郵送による提出 ■直接来学による提出
5	**受験票の確認** (P.38参照)	■受験票の印刷
6	**受験上の注意** (P.39参照)	■試験場 ■集合時間 ■持参品 ■服装 ■試験中の注意
7	**合格発表** (P.40参照)	■インターネットによる合否照会
8	**入学手続** (P.41参照)	■入学手続方法 ■納付金 ■一般教育訓練制度 ■入学辞退手続

出願に必要な書類

・提出漏れ防止のため、「チェックリスト」欄を活用しながら書類を準備してください。
・間違いや不備のないよう、よく読み、提出する前に再度確認してください。
・提出書類をまとめる必要がある場合は、ホチキス留めはせず、クリップ等を使用してください。

《全員必須》

書類の種類		注意点	チェックリスト
①	志願票	インターネット出願画面から出力・印刷の上、必ず提出してください。	□
②	志願者履歴書	本学通信教育課程ホームページ(https://tsushin.thu.ac.jp)より取得し、必要事項を入力のうえ、印刷して提出してください。	□
③	成績証明書	最終学歴校の学校長等が作成し、**厳封したもの**。	□
④	卒業(見込)証明書	出身大学等で作成し、**厳封したもの**。	□
⑤	研究希望書**(様式任意)**	大学院での研究計画等について入力し提出してください。	□

《該当者のみ》

書類の種類		注意点	チェックリスト
⑥	学位授与証明書	※出願資格⑵に該当する方のみ 大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出すること(授与見込の場合は、学位授与申請受理証明書を提出すること)。	□
⑦	入学資格審査申請書	※出願資格⑻に該当する方のみ 本学ホームページより取得し、必要事項を入力のうえ、印刷して提出してください。	□
⑧	英語検定試験証明書のコピー	※出願資格⑻に該当する方のみ 提出する証明書類の条件はP.31をご確認ください。	□
⑨	戸籍抄本	婚姻等により、出願書類に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、提出してください。	□
⑩	パスポートおよび在留カードのカラーコピー	※日本国内に居住する外国籍の方のみ 以下をカラーコピーし、提出してください。 ・パスポートの顔写真ページ(氏名、生年月日、パスポート番号等が記載されているページ) ・在留カードの両面(在留期間等および現住所が最新のもの)	□
⑪	外国語で作成されている書類の日本語訳	外国語で作成されている書類には、原本に加え、必ず公的機関が発行した公印付きの日本語訳を提出してください。	□

※外国籍の方：外国籍を有する者

出願手続

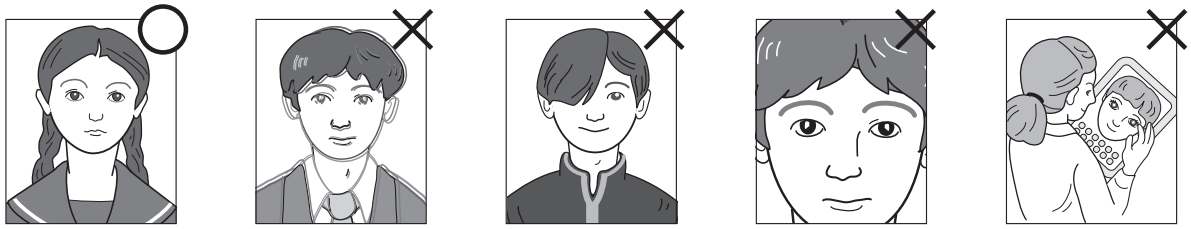
1. 事前準備

メールアドレスの準備

インターネット出願時にメールアドレスを登録していただきます。
登録したメールアドレスはマイページのログインIDとして使用し、また、出願完了や受験料入金完了をお知らせするメールを送りますので、普段から使用するメールアドレスを準備してください。

顔写真データの準備

顔写真は入学者選抜試験当日の本人確認用および**入学後の学生証用**として使用します。
一度登録された写真は変更できませんので、下記の「○良い例」を参考に、不備のないよう準備してください。
写真データのサイズは、100KB以上5MB以下となります。
※志願票に顔写真は表示されません。また、印刷した志願票に顔写真を貼付する必要はありません。



○良い例　×写りが不鮮明　×どちらかの目が隠れている　×顔の写りが大きすぎる　×アプリ等で顔を加工している

2. インターネット出願登録

個人情報・顔写真データ・出願情報の登録

以下のURLにアクセスし、インターネット出願システムより必要な情報を入力し、出願手続きを行ってください。
出願時の登録・入力ミスによる登録内容の変更は受け付けられませんのでご注意ください。

https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/

インターネット出願の流れ
受験料支払いの利用手順

1 ガイダンスサイトへアクセス

https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/

2 入学者選抜種別の選択・受験者情報の入力

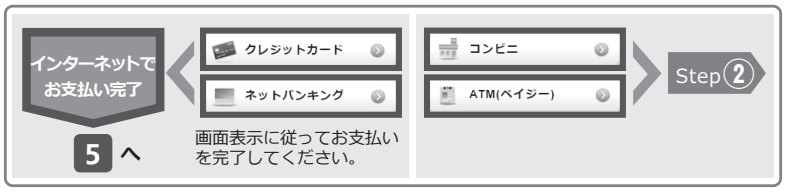
画面に従って必要な情報を入力してください。入力内容を間違えた場合は、始めからやり直してください。

3 支払い方法の選択

（受験料の他に、一件につきサービス利用料がかかります。）

Step① 受験料の支払い方法を選択します。

「出願登録完了画面」あるいは「マイページの出願確認から表示される申し込み一覧画面」より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。



■クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club

■ネットバンキング
主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

Step② お支払い情報を確認します。

コンビニエンスストア・ATMでの支払いに必要なお支払い情報を取得します。
お支払い情報は、支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

● コンビニエンスストア
コンビニエンスストア名を選択した後、**「お支払い情報取得ボタン」を押してください。**

■コンビニエンスストア

セブン－イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート

● ATM（ペイジー）
画面表示に従い、**「お支払い情報取得ボタン」を押してください。**

■ATM（Pay-easy利用可能なATM）
ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、
三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行など

次頁へ

4 受験料の支払い

選択した支払い方法で受験料を支払います。

3 のStep②で取得したお支払い情報を持参し、コンビニエンスストア（レジ、設置端末）・ATMにて受験料を支払います。
領収書は必ず受け取ってください。

コンビニエンスストア

セブン-イレブン
店頭レジ
- レジで「インターネット代金支払」と伝える
- 「払込票番号」を伝える
- レジで受験料を現金で支払う※
- 領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストア
店頭レジ
- レジで「オンライン決済」と伝える
- タッチパネルに「お客様番号」を入力
- 支払い内容確認
- レジで受験料を現金で支払う※
- 領収書（レシート形式）を必ず受け取る

ローソン ミニストップ
Loppi
- 「各種番号をお持ちの方」を選択
- 「お支払い受付番号」を入力
- 「電話番号」を入力
- 支払い内容確認
- 発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、受験料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
- 取扱明細兼領収書を必ず受け取る

ファミリーマート
マルチコピー機
- 「代金支払い」を選択
- 「次へ」を選択
- 「番号入力画面」を選択
- 収納番号の左5桁「20020」を入力
- 「収納番号の右12桁」を入力
- 支払い内容確認
- 発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、受験料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
- 取扱明細兼領収書を必ず受け取る

セイコーマート
クラブ ステーション
- 「インターネット受付各種代金お支払い」を選択
- 「お支払い受付番号」を入力
- 「電話番号」を入力
- 支払い内容確認
- 発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、受験料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
- 取扱明細兼領収書を必ず受け取る

ATM

Pay-easy 利用ATM
- 「税金・料金払い込み」など を選択
- 収納機関番号「58171」を入力
- 「お客様番号」を入力
- 「確認番号」を入力
- 支払い内容確認
- 「現金」または「キャッシュカード」を選択し支払う※
- 利用明細票を必ず受け取る

※ATMを利用する際、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

サービス利用料について

※受験料のほかに、サービス利用料が必要です。登録時にご確認ください。

5 宛名ラベルの印刷

https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/

受験料納入が確認でき次第、入金確認メールを送信します。
メールに記載のURLからガイダンスサイトにアクセスし、宛名ラベルを印刷し、
市販の封筒（角形2号）に貼付けしてください。

（メールが届かない場合、上記URLからアクセスしてください。）

6 出願書類の提出

宛名ラベルが貼付されている封筒に必要な出願書類（本要項P.34）を同封し、
中野キャンパス通信教育係に提出してください。
出願書類は出願締切日必着です。

出願完了

受験料支払い

❶ 受験料

研究科	受　験　料
情報科学研究科（通信制）	35,000円

❷ 受験料支払い方法（受験料は出願期間内に納付してください）

コンビニエンスストア・クレジットカード・ペイジー・ネットバンキングからの支払い

P.36～P.37「インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順」参照

なお、納付された受験料は、理由のいかんにかかわらず返還できません。

出願書類提出方法

出願情報をインターネット上で登録し、受験料を納付したうえで、出願に必要な書類（P.34参照）を出願期間内に郵送または直接来学にて提出してください。

[重要]

出願後は、試験日を含む出願内容の変更はできません。また、いかなる場合においても、出願後の書類および受験料の返還はいたしません。

必ず、出願資格から入学手続に至るまでの諸要件を十分にご確認・ご理解のうえで出願してください。

郵送による提出

出願書類は市販の角形２号封筒に入れ、インターネット出願システムのマイページからカラー印刷した「出願用宛名ラベル」を貼付のうえ、**簡易書留・速達郵便**で郵送してください。

出願期間内必着です。**消印有効ではありません**のでご注意ください。

直接来学による提出

出願期間内に、出願書類を中野キャンパス通信教育係へ持参してください。

受付時間　平日　9:00～17:00　　土曜日　9:00～12:00

※日曜、祝日の事務取扱いはいたしません。

出願書類提出場所

中野キャンパス通信教育係　〒164-8530　東京都中野区中野４-21-２　TEL.03-5860-4728

中野キャンパス以外では窓口受付はしておりません。

受験票の確認

受験票の印刷

インターネット出願画面のマイページメニューの「オンライン受験票」より確認・印刷ができます。前日になっても受験票が確認できない場合は、入試課へ電話で照会してください。

●受験票に関するご注意

・記載内容に誤りがないか、必ずご確認ください（出願時の登録・入力ミスによる内容の変更はできません）。

・受験票には顔写真は表示されません。また、印刷した受験票に顔写真を貼付する必要もありません。

・受験票は試験当日に使用しますので、必ず持参してください。

受験上の注意

❶ 試験場

試験場は帝京平成大学**池袋キャンパス　MiNoRiセントラル**です。

❷ 集合時間

集合時間は9:00です。机上に貼付された受験番号ラベルを確認のうえ着席し、試験監督者・係員の指示に従ってください。
なお、試験場は8:00開場です（8:00以前は入館できません）。
9:15から受験上の注意について伝達し、9:30から試験を開始します。
遅刻時の最終入室時刻は9:50までとなります。それ以降の入室は一切認めません。

❸ 持参品

① **受験票**

受験票は、インターネット出願画面のマイページメニューにある「オンライン受験票」をご自身で印刷して持参してください。試験場入室後は、机上に提示してください。受験票を忘れた場合や紛失した場合は、試験当日に総合受付に申し出てください。

② **筆記用具**（定規・コンパス・下敷き等の使用は認めません）

③ **時計（時計機能のみのもの）**

- **辞書、電卓、通信端末等の機能を有するもの、またはそれらの機能の有無が判別しにくいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型の時計の使用は認めません。**
- **携帯電話、スマートフォン等を時計として使用することはできません。携帯電話、スマートフォン等は必ず電源を切り、アラームを解除してかばんの中にしまってください。かばんは中身が見えないよう閉じ、椅子の下に置いてください。**
- **試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等を机の上に置いたり、身につけていることが確認された場合は、不正行為とみなします。**
- 当日、時計の貸し出しはできません。

❹ 服装

服装については自由です。（例：スーツなど）

❺ 試験中の注意

①途中退出は認めません。体調不良等、やむを得ない事情の場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
②試験時間中に以下の不正行為または不正行為の疑いがあると判断された場合は、退室を命じ、失格となることがあります。

(1) 監督者の指示に従わないこと。
(2) カンニング（他の受験者の答案等を見ること、カンニングペーパーの使用等）をすること。
(3) 使用を認められていない用具を使用して解答すること。
(4) 電子辞書・携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類を使用（机上に置く等）、または身につけていること（面接控室等での待機時間を含む）。
(5) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

上記の不正行為が認められた場合、それ以降の受験および当該年度における本学のすべての入学者選抜の受験を認めません。
なお、その際に受験料の返還は行いません。

合格発表

合格発表は、発表日（13:00～）から入学手続締切日（～23:59）まで、インターネットによる合否照会を実施します。
合否照会の方法については、下記をご参照ください。本学への電話等によるお問い合わせには応じることはできません。
また、操作ミス等によるトラブルについては、本学は一切責任を負いません。

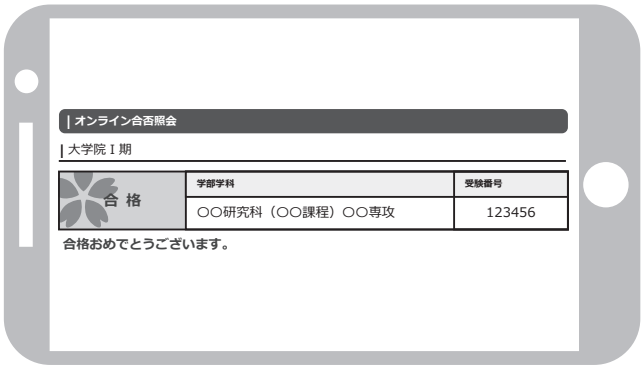
インターネットによる合否照会

以下のURLにアクセスし、インターネット出願システムのマイページ「合否結果」からご確認ください。

https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/ （パソコン・スマートフォン共通）

●インターネットによる合否照会における結果表示について

合格の場合



不合格の場合

※画面は開発中のものであり、実際の操作画面と異なる可能性がございますので、ご了承ください。

入学手続

入学手続方法

手続締切日までに納付金を納付し、併せて「入学手続書類」を提出してください。手続締切日までに入学手続を行わない場合は、入学を許可しません。
納付金の納付は、本学指定の振込用紙と、振込手続を行う方の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポート等）をご用意のうえ、金融機関の窓口で入学手続締切日（P.32参照）までに納付してください。

・納付金の納付は、半期分納付と年額納付が選択できます。
・**金融機関領収印は締切日当日まで有効とします。**
・納付した納付金のうち入学金は、入学手続完了の有無にかかわらず返還しません。

納付金

・教科書等については、別途費用がかかります。　（単位：円）

区　　分	入学金	授業料	施設設備整備費	合計（入学手続時）
	入学時のみ	半期分（年額）	半期分（年額）	半期分納付の場合（年額納付の場合）
修士課程	200,000	275,000（550,000）	75,000（150,000）	550,000（900,000）

※スクーリング受講料および学生傷害保険費は、授業料に含みます。

一般教育訓練制度

一般教育訓練給付制度とは、働く方の主体的な能力開発を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とした雇用保険の給付制度です。
一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する一般教育訓練講座を受講・修了した場合、教育訓練経費の20%（上限10万円）がハローワークから支給されます。
本学では、「一般教育訓練給付制度」の対象として、以下の課程が厚生労働大臣の指定を受けています。

研究科	専攻	課程	指定期間
情報科学研究科	情報科学専攻	修士課程【通信制】	2026年４月１日～2029年３月31日

制度の概要、対象者、申請方法等については、厚生労働省「教育訓練給付制度」をご確認ください。
制度の利用を希望する方は、事前に住所を管轄するハローワークにて、受給要件や手続き等の詳細をご確認ください。

提携教育ローン	本学では、株式会社ジャックスの提携教育ローン制度を導入しております。 （照会先）・株式会社ジャックス　コンシュマーデスク　TEL.0120-338-817 ・本学ホームページ（https://www.thu.ac.jp/exam/expenses/loan）
国の教育ローン	株式会社日本政策金融公庫　教育ローンコールセンター　TEL.0570－008656　https://www.jfc.go.jp/

入学辞退手続

入学手続後に入学を辞退する方は、**前期生：2027年３月31日（水）16:00、後期生：2027年９月30日（木）16:00までに中野キャンパス通信教育係（TEL.03-5860-4728）**に入学辞退の旨をご連絡ください。
入学辞退の旨を確認後、返金の所定用紙をお送りします。必要事項を記入のうえ提出することにより、入学金を除いた納付金の返還を受けることができます。

・ご連絡後の入学辞退の取消はできません。
・上記期限までに申し出のない場合、納付金は一切返還しません。
・納付金の返還は、書類到着日の翌月末に行います。

情報科学研究科（通信制）

修士課程　情報科学専攻 ｛社会情報学分野／健康情報学分野

●授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
基礎科目	研究倫理学特論	経営科学における研究倫理の理解と実践マネジメント（企画、評価とその応用、実践活用、コンプライアンスチェック）の基礎と応用を理解し、将来にわたり様々な組織において検証、実践行動をすることができることを学修の手眼としています。
	情報科学特論	情報科学は、現在のコンピュータを実現するための基盤となる知識を提供する学問であるとともに、未来のコンピューティングのあり方を模索する学問でもある。この授業を通して、ITの分野で有用となる知識を修得するとともに、将来のコンピューティングに対する独自の見解を述べられるようになることを目指す。
	情報システム特論	AIの普及に伴い、AI処理を高速に処理できる専用ハードウェアの重要性が高まっている。また、AI技術の進展により、効率的で高性能なハードウェアの自動設計技術も進化している。この授業では、AI時代におけるデジタル回路設計の基礎と応用を学び、カスタマイズされたチップやFPGAなどの柔軟性と拡張性を備えたハードウェアの設計を体験する。
	データサイエンス特論	データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解し、さらにコンピュータを用いて様々なデータを利活用する方法を学修する。Pythonを用いてデータを整理、集計、分析し、「データサイエンスとは何なのか」を深く理解し、データを利活用できるようになることを到達目標とする。
	システム設計学特論	オンライン決済やSNS、企業の基幹業務システムなど、情報システムは社会基盤として不可欠です。その障害や情報漏洩は社会に大きな影響を及ぼします。本講義では、利用者にはブラックボックスに見えていた情報システムの内側を、ATMやコンビニでの買い物といった身近な例を題材に概観します。 本授業では、①情報システムとは何か、②社会における情報システムの役割、③開発に必要な技術と方式についての理解を到達目標とし、開発者・利用者いずれの立場でも役立つ専門知識を修得します。
	地球環境情報特論	現在かかえている地球環境の課題を認識して、情報学の専門知識と技術を用い、高度の情報社会の中で持続可能な自然と人間が共生できる社会の維持と構築に向けて低炭素社会を軸に考えます。
	生体構造機能情報特論	生体模型や各種測定機器を使用し様々な角度から人体の構造と機能を理解します。特に客観的評価における骨格、筋等の運動器に関しての情報を収集し解析します。また運動器疾患を持つ患者に対する固定法や運動療法、装具療法なども学習します。
	人工知能特論	人工知能の活用事例、利活用上の課題から始め、個別の実現技術について、技術発展の経緯に沿いながら、演繹的方法、帰納的方法をバランスよく幅広く学修します。それぞれの実現技術の概要を正確に理解したうえで、社会的課題にAIを含んだシステムでどのように対応できるか、具体的に考え提案できるようになることを到達目標としています。
	アルゴリズム特論	本科目では、科学技術計算で用いる種々の数値解析法を、数値解法の導出・アルゴリズムの構築・プログラムの作成の手順を追って学修します。また、数値解法によって得られる近似解と、真の解との数学的厳密な誤差評価についても考察を行います。
専門科目	統計解析特論	多変量解析とはどのようなものかその種類や用途などについて学修する。 はじめは単回帰分析や線形代数の復習を行い、重回帰分析、数量化、判別分析などの詳しい方法について学修する。
	医療系データ解析特論	医学、薬学、公衆衛生学等の分野で用いられる様々なデータを概観することから医学、薬学、公衆衛生学で用いられるデータの種類を知り、標準的な解析手法を学ぶ。また最新の論文から最新の手法、および結果の表示等について学習する。
	機械学習特論	受講生がそれぞれ専門とする分野において、機械学習や人工知能を用いて課題解決を図ることができるよう基礎技術を習得することを目的とする。具体的には、①基本的な機械学習アルゴリズム、深層学習ネットワークの概要を理解し、Pythonを用いてそれらを利用できること、②自身が専門とする分野において、機械学習・深層学習を適用することで解決できそうな課題を発見し、分析のプロセスを提案できることを到達目標とする。
	健康リスク分析特論	環境と調和した健全な経済産業活動や健康な生活の持続的な維持ができる社会機構の構築に向けて、主としてリスク評価を適切に実施できる実践の場に有用な技能を修得することができる。
	環境変遷学特論	地球環境科学に関わる諸問題について、気候変動と環境学の視点から文献の講読と議論を行い、環境変遷学の体系について紹介する。また、地図や資料等の判読・野外踏査について基礎的な事柄を解説する。そのうえで、室内外での調査手法のトレーニングを実施し、研究の進め方、成果のまとめ方と発表の仕方を修得させる。

情報科学研究科（通信制）

修士課程　情報科学専攻 ｛社会情報学分野／健康情報学分野

●授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
専門科目	都市空間情報特論	都市空間情報全般にわたる理解を調査・分析、ディスカッション、発表等を通して深めていく。また、都市の施設配置や、空間形態と周辺環境の関係性等に着目し、課題を解決するための提案を行う。
	医療情報特論	The WHO Famility of International ClassificaionsとIntenational Classificaion of Diseases (ICD)、Health Level Seven International のHL7、日本で使われているDiagnosis Procedure Combinationそれぞれの概要と互いの関連について、履修者自身が調査し報告書を作成することを課題とする。
	理学療法治療学特論	理学療法の治療方法の文献を提示し、レポートにまとめる。
	作業療法治療学特論	人間の発達を生涯発達という観点からとらえる。単に発達指標を追うのではなく、機能間の相互作用の重要さを認識する。また、障害構造を理解することで臨床像を発達的な観点からとらえ直し、治療的な働きかけに新しい視点が加わるよう学修を深める。
	臨床心理学特論	臨床心理学全般についての基礎知識、及び基本的な人間の発達段階の知識を修得する。また、いわゆる心の病に苦しむ人々だけでなく、発達障害の人々への理解も学んでいく。そのほかに、児童虐待、家庭内暴力、少年犯罪、不登校や引きこもり、など様々な事象についても学んでいく。
	地域ケアシステム特論	誰もが介護を必要とする状態になっても住み慣れた地域で自分らしい人生を最期まで続けていけるよう、地域包括ケアシステムが機能するにはどのような条件が必要となってくるのかを考察する。同時に、地域が少子高齢化で抱える課題について学修し、課題解決の方法や実践について理解する。
	言語聴覚障害学特論	(1) 言語・コミュニケーションの過程とそれに関わる各種器官の関連について理解する。 (2) さまざまな言語聴覚障害のタイプについて、その成因と症状について理解する。 (3) 言語聴覚療法の評価法・介入法についての基本的な流れと視点について学ぶ。
	柔道整復学特論	運動器の構造と機能、バイオメカニズム等を基礎とし運動障害の機序や特徴、その他様々な障害および外傷に対する処置等を柔道整復学の視点から学ぶ。基礎運動機能研究と臨床研究などについて研究デザインの確立方法を修得し、研究データの解析能力を身につけ、その修得のための演習を行う。
	健康支援特論	少子高齢化や生活習慣病などが課題となる中、QOLの向上を目指し、人々の健康づくりを支援していくことが必要である。健康を保持増進するための基本的な概念や制度について概観した上で、支援に必要な知識を学び、その支援や課題解決に向けた実践力を身につける。
	生活環境学特論	生活環境で危惧されている問題が生じた原因とメカニズム、健康と環境に及ぼす影響を理解し、安全で安心できる生活環境の創生に貢献できる、実現の可能性がある具体的な今後の対策や行動を考えます。
	疫学分析特論	医学、薬学、公衆衛生学等の分野で用いられる研究デザインに基づいて、データの収集、データの保管、データの利用、結果の表示等について学習する。個人情報保護の観点からデータ利用の作法を学習する。また標準的なデータ解析手法から最新の手法について学習する。
研究科目	情報科学特別研究	研究関連分野に関する専門書、主要文献、参考書などを収集し、研究の背景・経過、研究手法、最近の取り組みや成果等を理解し、自己の研究に反映できる技能を養成して研究を実施する。研究を実施するために必要な研究倫理を修得する。これらにより、研究者としての規範、自己の研究の位置づけと重要性を明確にするとともに、研究の企画と実施に必要な技能を修得する。研究成果の公表のための技能を養成する。
	情報科学研究実習	指導教員の指導のもとで、修士論文のテーマとする課題について、原則として１年次の夏期または春期期間中（７月下旬～８月下旬、または２月上旬～３月上旬）に、本学の施設・設備を使用し、研究実習を行う。本科目の終了後、研究実習で得られた成果を、研究実習（スクーリング）報告会で発表する。

情報科学研究科（通信制）

修士課程　情報科学専攻 ｛社会情報学分野／健康情報学分野

●教育研究および担当教員

分野	研究指導分野	研究指導内容	担当教員
社会情報	データサイエンス	データサイエンスとは、データを扱うための統計的・数理的な技術とその応用の研究で、従来の伝統的理論や手法とは異なる観点から、データによって真実を明らかにするものです。その中で、Webデータやセンシングデータなどの実データを分析し、ビジネスや社会での現実問題に貢献する技術について研究します。	教　授　村　川　賀　彦
	センシング工学	感染症拡大など様々な場面で人の流れの把握が社会的重要性を増しています。無線技術を応用したセンシングと、AI・機械学習などを応用したデータ分析手法を組み合わせ、プライバシー保護を考慮した高精度な人の動きの推定方法を研究します。	教　授　鈴　木　昭　浩
	並列分散処理及び分散コンピューティング	インターネットを代表とするコンピューター・ネットワークが多く利用されています。最近ではIoTと呼ばれる「物をインターネットに接続」し、得られたデータの活用がされています。これらに関する課題を選定し、最新の技術情報の分析を通して研究を進め専門的知識を修得します。必要に応じてIoTシステムを構築し実用的な技術を修得し研究を深めていきます。	教　授　藤　井　愼　裕
	データ駆動型数理科学	現象をモデル化する理論科学的手法やコンピュータ・シミュレーションによる計算科学的手法に加え、応用機械学習やデータ駆動型モデリングによる解析・予測を取り入れ、現象の理解と構造の解明に活用します。これらを統合し、数理モデルとデータ科学の融合を通じて、自然現象や社会現象の背後にある構造やメカニズムの解明を目指します。	教　授　吉　岡　剛　志
	地学・自然地理学・自然災害科学	地学・地理学教育の手法研究と実践、気候変動（温暖化）による環境変化と防災	教　授　小　森　次　郎
	都市・建築学（計画学）	都市・建築学に関する課題を選定し、国内外でのフィールドワークと調査・分析を通して、地域に提案をします。研究テーマとしては「文化遺産と防災」、「レジリエントな空間とコミュニティ」、「伝統住居群の住環境」などが挙げられます。	教　授　狩　野　朋　子
	画像認識	コンピュータを用いて、デジタル画像の分類や物体検出を行う画像認識に関する研究開発を行います。具体的には、ノイズや圧縮のある静止画を入力する深層学習ネットワークの性能向上に関連する研究を行います。	教　授　遠　藤　和　紀
	詳細が決まり次第、更新いたします。	詳細が決まり次第、更新いたします。	教　授　小　林　泰　之
	情報の表現とビジュアライゼーション	ネットワーク技術やデジタル化技術が発達し、多種多様なデジタルコンテンツを入手できるようになりました。氾濫するコンテンツ間の多様な関係を構造で表すことを軸として、多面性、多様性が感じられるようなグラフの可視化手法、人が楽しめるインタラクション方法（関連するモノとの出会いを提供）を探求し、新たな知見や、新しい関係の発見を目指します。	准教授　石　川　尋　代
	並列処理	世界的に計算需要が増加する中で、より短い時間で計算を完了する並列処理方式が注目されています。並列計算システムの提案・設計・構築を通じた実験的な研究、あるいはプログラムの振る舞いモデルの解析を用いる理論的な研究によって、実用的な知見を得られるように指導します。	准教授　米　澤　直　記

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

分野	研究指導分野	研究指導内容	担当教員
社会情報	経営情報論	経営に資する情報システムの諸相を考えるのが経営情報論です。ですので実務的な問題意識に根ざしたテーマを論じます。問題にアプローチする手法は理論研究・文献研究、シミュレーションもありますが、やはり実際の問題に答えを出すには実証研究がやはり決定的といえるでしょう。インタビュー、アンケート、現場観察・データ採取など現場から得られる情報を分析して新しいファクトを見出すことを目指します。	准教授　礒部　大
	理論経済学（情報化と経済成長、ニューエコノミー論）	情報通信技術の発展が経済・社会に及ぼす影響について、経済学的視点から研究します。特に、ニューエコノミー論をはじめ、情報化と経済成長、生産性、産業構造等との関係について、経済理論や先行研究、統計資料等を用いて分析します。これらの研究領域に関連する課題を選定し、研究を進めます。	准教授　照屋健作
健康情報	生体分子情報学	生体では、ホルモンや低分子物質が細胞間で情報伝達することによって多細胞社会が形成されています。遺伝子など多様な物質を含んでいる新規の細胞間情報伝達体である小胞を中心に、分子情報によって生体システムが制御されるしくみについて研究を行います。	教授　矢ノ下良平
	薬物動態情報学	脳の病気の治療薬を開発するうえで、薬が脳まで届くかどうかは非常に重要です。しかし、脳には有害物質の侵入を防ぐ仕組みがあるため、薬がどの程度脳に届くかを予測することは簡単ではありません。本研究では、実験データとAI技術を活用し、薬の脳への届きやすさを高精度に予測する技術の開発を目指します。	教授　出口芳春
	保健医療（教育）運動器外傷	保健医療分野の教育に関する研究をします。大学生のジェネリックスキル低下について問題点をまとめ、その対策として医療専門知識と技術の向上について効果的な手法や評価方法などを研究します。テーマは主に運動器の外傷および障害の機序を解析し、予防に役立てる研究とします。	教授　田宮慎二
	人工臓器学	人工臓器のなかでも、人工腎臓である血液透析膜の生体適合性の解明を行います。	教授　東郷好美
	作業療法実践	疾病や障害の有無、年齢にかかわらず、その人らしい生活と社会参加を支えるためには、作業、生活行為、生活環境を包括的に捉えることが重要です。生活行為や運転・地域での移動をはじめとする地域生活上の課題を対象に、作業遂行や身体動作の客観的評価も取り入れながら、作業療法の評価および支援の発展につながる研究を行います。	教授　根本悟子
	医療・健康AI	時系列データを処理できるAIを、臨床診断の支援、救急救命処置の遠隔支援（エッジAI）、高精度の姿勢推定やリハビリテーション等に活用する研究を行います。また、認知と言語の関係等をAIを使って分析し、人の知能そのものに関する知見を蓄積します。	教授　後藤哲史
	臨床心理学分野	臨床心理学では、対象者の状態を把握するアセスメントと、それに基づく心理的支援が中心となります。研究では、こうした支援の方法や効果について実証的に検討することが求められます。テーマとしては、心理支援と情報技術の連携をテーマとした実践的な研究について指導を行います。	教授　松浦正一
	健康支援・増進	地域在住高齢者の健康に寄与する因子について、2次データや、調査データを用いて分析を行います。	准教授　知脇　希
	理学療法治療学	理学療法における対象者への介入は評価および治療が中心となる。対象者に対して適切な検査を実施し、その結果から適切な問題点を抽出する評価を行い、それに対して適切な治療方法を選択する必要がある。研究テーマに関しては理学療法評価および治療的介入に関して行う。	准教授　芳野　純

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

分野	研究指導分野	研究指導内容	担当教員
健康情報	生体情報計測	非侵襲的な生体情報計測手法により得られた情報から、生理機能変化に伴う生体情報の抽出を行います。特に、脳波、筋電図、心電図からの生体リズム情報と機能的変化との比較をして疾患推定手法と医用診断補助システムへの応用も行います。	准教授　松　﨑　晴　康
	東洋医学(鍼灸)	筋の痛みを中心とした疼痛疾患に対する鍼灸治療の作用メカニズムや、その臨床的役割に関する研究指導を行います。	准教授　皆　川　陽　一
	医用画像AI・基盤モデル	CT・MRI・PETなどの医用画像と臨床データを対象に、深層学習を用いた画像の再構成・補正、病変の検出、予後予測に関する研究を行います。また、大規模な計算資源に頼らずに動作する省資源型のAI基盤モデルを設計し、公開医学データを用いて信頼性・不確実性・外部汎化性能を検証する研究にも取り組みます。	准教授　平　原　大　助

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

TEIKYO

帝京平成大学 入試課

HP https://www.thu.ac.jp

お問い合わせ

入試相談 0120-918-392

TEL.03-5843-3200 FAX.03-5843-3210

池袋キャンパス 〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4
中野キャンパス 〒164-8530 東京都中野区中野4-21-2
千葉キャンパス※1（2026年度） 〒290-0193 千葉県市原市うるいど南4-1
千葉キャンパス※2（2027年度以降） 〒290-0192 千葉県市原市ちはら台西6-19

※1 2027年4月より「千葉スポーツキャンパス」へ名称変更予定です。
※2 2026年度以前の名称は「ちはら台キャンパス」です。

〈通信制大学院についてのお問い合わせ〉
帝京平成大学 通信教育係（中野キャンパス）

HP https://tsushin.thu.ac.jp Eメール tsushin@thu.ac.jp
TEL.03-5860-4728